

# 台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2019年12月2日号 東京発行 NO.272

発行元: 株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0047 E-mail: info@taiwannews.jp 台湾代表處 新北市林口區麗園路28號5樓 TEL: 02-2608-6177  
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込)/NT.1,000

台湾新聞は現状の政権を尊重し、公正かつ中立の立場を理念として発行する唯一の新聞社です。政党や思想にとらわれない自由と平等な紙面構成を常に心がけております。皆さまからの暖かいご支援をお願い申し上げます。

## 台湾総統選の候補者出そろそろ 現職の蔡氏が優勢か

▽台湾総統選の候補者出そろそろ



台湾の総統選が2020年1月11日に行われるのに伴い、台湾与党民進党の蔡英文総統は11月19日、総統選への立候補を中央選挙委員会に届け出た。野党候補の国民党の韓國瑜と親民党の宋楚瑜もすでに届け出を済ませており、これで候補者が出そろった。再選を目指す蔡氏は、香港民主化デモや先に結果が出た香港区議選での民主派の圧勝などを追い風に、中国に対する世論の警戒心も合わせ、「香港情勢は悪化し中国は台湾の選挙に介入している。あと4年間で台湾をさらに強くさせてほしい」と再選に意欲を示し、目下、選挙戦を優勢に進めている。

メディアによる世論調査では、副総統候補も加味した支持率は最大野党の国民党の韓國瑜(高雄市長)が29%、親民党の宋楚瑜は8%と蔡英文総統の45%を大きく下回る。現況では蔡氏は両氏を引き離している。また、台湾で対中政策を主管する大陸委員会が10月下旬に公表した世論調査によると、中国が台湾統一策として掲げる「一国二制度」に89.3%が「賛成しない」と回答。無所属での出馬を見送った柯文哲台北市長は

11月17日、蔡氏の優勢は選挙の結果次第で台湾が消滅しかねないとの「亡国感」が主要因とし「総統選はすでに消化試合に入った」との見方を示している。

蔡氏陣営は支持率回復が香港情勢という「外部要因」によるものである事を警戒。党の伝統的支持層である「台湾独立」派に人気の頼清徳前行政院長を副総統候補に指名し、盤石の陣営固めを図っている。

一方、韓氏は昨年11月の統一地方選で「韓流」と呼ばれるなど人気を示したが、香港で民主化デモが活発化した今年の6月以降、中国に融和的な姿勢が響き、反転の兆しが見えない。政策面でも準備不足が露呈している。なお韓氏は現在、政策顧問団を主催する無所属の張善政元行政院長を副総統候補に据え、内政面の公約を充実させて中間層に支持を広げる考案だ。

来年の台湾総統選は、いま香港で起きている抗議活動や香港民主派の選挙圧勝など、世論は、若い世代を中心に将来を憂慮する動きが本格化しており、今後、中国との距離感などを争点に選挙戦が本格化するものとみられる。世界中が注目している。

## 台湾新聞社與 維特利行銷合作 成立台灣代表處擴大交流



維特利行銷未來將做為台灣新聞在台代表處



張俊麟致詞

【台北／採訪報導】台湾新聞社一直以來堅持做為台日交流的橋樑，在日本深耕二十年，為了擴大台日之間的交流，讓訊息傳遞更加流暢，台湾新聞社於十一月十日在台湾國際房地產博覽會上與維特利行銷進行簽約儀式，擴大未來在台湾的採訪及交流活動等業務。

台湾新聞社成立於1999年，早期以紀錄在日僑民活動及分享台灣政經消息，但隨著台日關係友好，雙方交流互動頻繁，台湾新聞社不僅擴大報導內容，深入採訪台日各項活動，也增加電子版方便民眾閱讀，為了加強台日資訊交流，特別與維特利行銷簽訂合作契約，讓報導更多元化。

台湾新聞社社長錢鈺玲表示，台湾新聞



簽約儀式合影

在日本已經有二十年的歷史，身為台灣人真的很希望把我們在日的台灣人資訊，包括僑民在日本的努力，透過台湾新聞這個平台，分享到台灣來，也將台灣的政治、經濟文化等分享给日本人知道，這次合作後，會擴大到不動產、旅遊、移民留學等，讓新聞更加豐富。

維特利行銷董事長張俊麟表示，很榮幸有機會與日本台湾新聞社合作，台湾新聞在日本有二十年的經歷，但在台灣就還有許多發展的空間，再加上老招牌裡面剛好有台灣兩字，因此這次在台灣設立代表處，不僅能讓台灣日本的交流更加密切，也能將日本的第一手資訊帶到台灣。

▽香港区議選で民主派が圧勝を知って喜ぶ支持者ら(写真提供:自由時報、美聯社)



## 香港区議選で 民主派議席が8割超

香港で11月24日に投票が行われた区議会(地方議会)議員選挙で、民主派が圧勝した。香港メディアによると、民主派は全452議席のうち8割超を獲得し、選挙前の約3割から大きく躍進した。民主派はこの区議選を「デモの賛否を問う住民投票」と位置づけ、デモ支持の民意が示されたとして、今後は普通選挙などの要求をさらに強めるものとみられる。

民主派が区議会選で過半数以上を獲得するのは1997年の中国返還後22年ぶりです。投票者数は約294万人と前回から倍増した。暫定の投票率も47%から71.2%に達するなど中国返還以来の直接選挙で過去

最高を記録。6月に大規模民主化デモが始まって以来初の主要選挙のため、有権者からの関心は高まっていた。

この区議会選は、議員1人を選出する小選挙区制度のため、区議会は、香港政府トップの行政長官を決める選挙委員1200人の1割程度にあたる117人が割り当てられる。香港メディアによると、民主派は22年の行政長官選で117人すべての選挙委員枠を獲得する見通し。

民主派の圧勝による選挙結果を受け、デモ参加者が標榜している「五大要求」がさらに強まるものとみられる。五大要求のうち、デモのきっかけである「刑事事件容疑

TOPIC	
日本語版	
●リン・チーリンとAKIRAが台南で挙式	2面
●国立交通大学が開発のスマートコンタクト、ドライアイにも有効	2面
●最も好きな国は「日本」、59%で過去最高	3面
中国語版	
●貿協四展聯合記者會 盼深化台日產業交流	6面
●台醫人保齡球親睦會 藉由運動放鬆身體	7面
●科技員的甜點夢 讓台灣站上國際舞台	8面
●東京台灣商會忘年會 盼吸引人才加入傳承歷史	11面
●國民黨日本後援會成立 李佳芬代夫出征爭取支持	12面

WEBでもニュース記事が読めます  
<http://blog.taiwannews.jp/>

## 台湾新聞2020年 謹賀新年元旦号 広告ご出稿のご案内

台湾新聞では、来年1月1日に109年目の新年を迎える中華民国(台湾)への祝い広告を募集しております。台湾新聞の読者の方々に向け、祝い広告を掲載しませんか? 詳細御希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【お申し込み方法】  
FAXまたはメール、郵送で弊社までお知らせ下さい。  
【お問い合わせ・お申し込み先】  
台湾新聞社  
TEL: 03-5917-0045  
FAX: 03-5917-0047  
E-mail: info@taiwannews.jp  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4



区議会議員選挙の開票作業(写真提供:中央社)者の中国本土への引き渡しになる逃亡犯条例改正案の撤回」は実現したが、「デモを暴動とする政府見解の撤回」「デモ参加者の逮捕・起訴の中止」「警察の暴力行為を調べる独立調査委員会の設置」「普通選挙の実現」など4つの要求は残る。  
なお、区議選前にはデモによる交通妨害などで選挙を円滑に実施できるか疑問視されていたが、選挙直前の過激なデモ活動はなく、予定通り全選挙区で投票が行われた。

# 香港政府は「若者を血祭りに上げるべきでない」=蔡総統



若者を拘束する警察官(写真提供:自由時報、法新社)

先が見えない香港の一連の騒動で、香港警察当局が大学のキャンパスに突入し、多数の学生を逮捕したのを受け、蔡英文総統は11月13日、自身のフェイスブックに「北京当局の体裁を取り繕うために香港の若者を血祭りに上げるべきではない」と投稿し、香港政府の暴力に異を唱えた。さらに「混乱が続く香港に目を向けてほしい」と国際社会に呼び掛けた。これに対し、蘇貞昌行政院長をはじめ与民進党の林飛帆副幹事長も同日、香港政府を非難するコメントを相次いで発表した。

蔡総統は「白色テロ時代は台湾が二度と繰り返したくない痛ましい過去だ」とし、香港の現状に言及した。警察が市民を守らず、市民本位を否定している香港政府に対し「信

頼を失うだろう」と警告した。加えて「香港の自由と法の支配は権威主義にむしばまれている」との見方を示し、「自由と民主主義の価値を信じる者は立ち上がり」と世界の人々に向けて鼓舞した。

一方、蘇氏も自身のフェイスブックを通じ、台湾人は香港警察のやり方を「受け入れられない」と批判。台湾もかつて同じような時代を経験した事を踏まえ「権威は自由を禁じ得ず、暴力は異議を鎮圧し得ず、独裁制は民主主義に勝ち得ないことを世界に証明してきた」と論じ、「学生と対話し、市民の訴えに耳を傾けるように」と、香港政府に訴求した。

また、林氏は記者会見を開き、「香港は今警察の横暴がまかり通る都市と成り果て、法の支配は崩壊した」と指摘。「暴力による鎮圧



蔡英文総統のフェイスブック

で香港の一国二制度を消滅させようという北京当局の意図は明らかで、まるで天安門事件の再来だ」と語気を強めた。その上で、世界各国が香港を支援し、香港の制度を50年間維持することを約束した1984年の「中英共同宣言」の順守を中国側に求めて行く姿勢を明確にした。



香港デモの様子(写真提供:自由時報、美联社)

## 国立交通大学が開発のスマートコンタクトに注目



2019未来科技展が12月で台北市で行われる(写真提供:中央社)

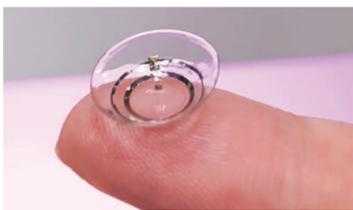
台湾科技部主催の「2019未来科技展(FUTEX)」が12月5日より8日まで台湾台北市の台北ワールドトレードセンター1号館で行われる。同展では、世界をリードするハイテク技術を駆使した作品11点が展示される見込み。台湾国立交通大学(台湾新竹市)電機工学科の邱俊誠教授が率いる研究チームが開発した「スマート・コンタクトレンズシステム」が今から大きな注目を集めている。

邱教授は「スマート・コンタクトレンズシステムは、コンタクトレンズ着用者がかか

りやすいドライアイ対策にも有効」と話す。また、「このコンタクトレンズには、ドライアイに関する様々な数値を同時に計測できるシステムが搭載されており、医師によるドライアイ診断をサポートすることができる」という。さらに「有効な薬の選択や薬の有効性を評価し、治療の回復状況をも把握できる」とその特徴を話した。技術開発については、邱教授率いる研究グループが9年の歳月をかけて研究し完成させた、という。動物実験も終え、2020年に臨床試験を開始する計画という。

スマートコンタクトレンズに関する技術開発は、現在、海外でもすでに進められているが、成功例は少ない。米グーグル社が進めていた「スマートコンタクトレンズ」計画では、コンタクトレンズに小型センサーを搭載し、涙液から糖尿病患者の血糖値を測定するというものだったが、「正確な血糖値を測定するのは困難」との結論に達し、2018年に開発が打ち切られた経緯がある。

邱教授は今後、ドライアイの診断やその症状の計測のほか、AR(拡張現実)機能を組み込んだコンタクトレンズへの開発にも意欲を示している。ゲームなどの娯楽産業において活用可能で、視力矯正にも一役買うことが期待される、としている。



スマートコンタクト(写真提供:自由時報)

## 米国人エンジニアに「梅花」永久居留証を授与



方徳良氏(写真提供:中央社)

台湾の電動スクーター「Gogoro」の交換式バッテリー充電ステーションが台湾全土に渡って普及が進んでいる事で、現在、利用者はクリーンで環境に優しい電気エネルギーの利便性を安価で使うことが可能となっている。

このシステムの整備に主要な役割を担った米国人の方徳良氏に対し、台湾内政部移民

署の台北市サービスステーションは11月17日、台湾の電動スクーター産業に対する功績を称えるとともに、感謝の証として「永久居留証梅花卡」(梅花カード)を手渡し、審査にパスした事を祝った。

「梅花カード」は台湾に特別な貢献を果たした外国人、台湾が必要とする高度専門人材である外国人、そして台湾に投資し、事業を行使する外国人や台湾の公債に一定金額を超える投資を行う外国人が申請できる特殊な居留証。一般の永久居留証と異なり、特殊な居留証である「梅花カード」の所持者は、年間183日以上台湾に滞在していなければ永久居留権が失効するという制限を受けない。

方徳良氏は、1988年米マサチューセッツ州で生まれ、マサチューセッツ工科大学で電子工学及び計算機工学の修士を取得後、米シリコンバレーのオラクル社に就職してエネル

ギーシステムの設計に携わった。その後、友人が香港で立ち上げたスタートアップに参加。太陽エネルギーを利用し、石炭やガス不用の料理が出来る調理器を開発した。2014年には、諸事情により台湾に居住して2015年にGogoroのチームに加わった。

Gogoroに参加して4年間、電気工学のエンジニア協理からエネルギーシステムのエンジニアリーダーに昇格、現在では60人の部下を統率する。現在は電動スクーターGogoroのさらなる普及に向け、使用者の数に応じてシステムがバッテリーの放電、充電、交換を速やかに行える充電ステーションのサービスを全力で開発しているという。

目下、日常でGogoroに乗って台湾各地を走っている方さん。その一方で若手エンジニアの募集や育成も。若手とともに「より安全でスピーディ、省エネかつ環境に優しい電池システムを開発し、持続可能な地球を確保するため出来る限りの責任を果たしていきたい」とさらに発展を願っている。

▼リン・チーリンとAKIRAが台南で挙式(写真提供:自由時報)



## リン・チーリンとAKIRA 台南で挙式

台湾の女優、リン・チーリンと日本の音楽グループ、EXILE(エグザイル)のメンバーAKIRAは11月17日、台湾台南市で結婚式を挙げた。2人はこの日の午後、台南市内の祠堂で挙式した後、台南市定古跡「台南市美術館1号館」に移動して披露宴を開催した。

会場の台南市美術館1号館入口周辺には、大勢の市民が詰め掛け、二人が姿を現すと大きな歓声を上げて祝福。新郎のAKIRAは中国語で「夫婦になれてうれしい」、日本語で「これまでの8年間、良いことも悪いことも全て2人の愛に必要な時間でした」と語り、おきり声を詰まらせながら挨拶に、新婦チーリンは涙をぬぐう仕草を見せ、中国語で「知り合ってから8年、今一緒にになったのは運命だと思います」とAKIRAへの感謝の

気持ちを伝えた。

なお、同館の入口周辺には交通規制も敷かれ、大勢の市民や報道陣が待ち構えるなか、二人は夕方になって姿を見せ、ドレスとスーツにそれぞれ身を包み、同館のバルコニーに登場。幸せそうな笑顔を見せ、手を振って人々の歓声に応えていた。

二人は2011年に日本の舞台「レッドクリフ〜愛〜」で共演したのをきっかけに交流がスタート。今年6月に結婚を発表していた。披露宴会場の台南市美術館1号館は、日本統治時代に警察署だった建物をリノベーションしたもので、会場として使用されたのは市定古跡と、その後方に新築された建物をつなぐスペース。会場のそばにある中庭には大きなガジュマルが植えられており、閑静な雰囲気を感じ、チーリンが気に入り、会場に選んだと伝えられている。

▼嵐が11年ぶりに台湾訪問(写真提供:中央社)



## 嵐が11年ぶりに台湾訪問～活動休止までに台湾公演を考えたい

日本のトップアイドルグループの嵐が11月11日の午前、専用ジェット機でアジア4都市を巡る「ジェットストーム」の一環として台湾を訪問し、台北市内で記者会見を開いた。嵐の訪台は2008年の台湾公演以来11年ぶり。櫻井翔さんは台湾公演の予定について、「活動休止までの間にできるかどうか考えながら過ぎていきたい」と話し、現地のファンの期待に応えたい気持ちのぞかせた。

台湾再訪の喜びと現地のファンへ感謝した5人。今年2月にプライベートで台湾を訪れたという櫻井は、台北を「大好きな街の一つ」と話し、北部・新北市の十分の滝や九份に足を運んだことも明かした。松本潤さんも「今年4月にプライベートで訪問した」とし、以前のコンサート時と比べ「街が近代っぽくなった」と感じたと言及。リーダーの大野智さんは「11年ぶりに台北に5人で来れ、その間もみなさんずっとファンでいてくれて、無事に20周年を迎えられました」と感謝。二宮和也さんは、空港で多くのファンに出迎われ「台湾に帰ってきたという思いがしている」と感想を話した。

今年でデビュー20周年を迎えた嵐。会見で20年間で特に印象に残っていることを聞かれると、櫻井は「2006年の台湾での公演の時は嬉しかった」と答え、デビュー曲の「A・RA・SHI」をファンが日本語で歌ってくれたエピソードを紹介した。台北の懐かしい思い出に関する質問には、「こんなにもショーロン

ポー(小籠包)って食べるんだと思った」と二宮。前回の訪台ではずっと食べていたとい、「今回も食べたくなる」とショーロンポーへの愛をあらわにした。相葉雅紀さんは、飛行機が着陸する前に見えた街並みを挙げた。台湾でのコンサートの予定について質問には、櫻井は、前回のプライベートでの訪台はロックバンド「ミスターチルドレン」(Mr.Children)台北アリーナ公演を見るためだったと明かし、日本のアーティストの前に大勢の台北の観客がいる景色を目にし、「こんなことをできたらいいなと想像しながらコンサートを見ていた」と当時の思いを振り返った。

今回の訪台のために中国語を練習してきたというメンバー。中国語で挨拶したほか、5人それぞれが一言ずつ中国語を披露してみた。会見の最後には、相葉がメンバーを代表して「20年間支えてくれて本当にありがとうございます」とたどたどしくも中国語であいさつすると、会場は大きな拍手に包まれた。なお、会見には抽選で選ばれたファン50人も参加した。

嵐は11月9日に東京を出発し、10日夜までにジャカルタ、シンガポール、バンコクで記者会見を開催。台湾には11日早朝に着し、記者会見を終るとすぐに台北松山空港に向かい、帰国の途についた。

なお、嵐は今年の1月27日に公式ファンサイトにて「2020年12月31日をもってグループ活動を休止する」と発表している。

▼記念撮影



## 邱品農さんと高橋友梨香さんが結婚!

台湾企業・恩詩國際行銷有限公司の邱品農社長と元台湾新聞記者の高橋友梨香さんがこのほど華燭の典を迎え、11月9日に横浜市内のホテルで挙式されました。邱さんと友梨香さんは台湾新聞社の元同僚。

2016年に出会い三年越しの恋を突らせゴールインした。本紙錢妙玲社主と邱品農さんは親戚関係。現在は台日のPR関連業として業務提携の間柄。おめでとうございます。(臺灣新聞社一同)



# 沖縄尚学高二年の張くん 九州地区スピーチ大会優勝～ 全国大会出場

スピーチコンテストの記念撮影



九州地区英語教育研究団体連合会は11月2日、福岡県立博多青松高等学校で「第29回九州地区高等学校英語スピーチコンテスト」を開催し、沖縄尚学高等学校の二年生で同校野球部の張博瀚くんが第一部(ノンバイリンガルの部)で優勝した。同校はこれまで、第二部(バイリンガルの部)において過去4人の優勝実績はあるが、第一部の優勝は初。優勝者の張さんは、これにより2020年2月9日に開催される「第13回全国高等学校英語スピーチコンテスト」に九州地区代表として出場する事が決定した。

台湾出身の留学生である張くんは、同校のバイオニアコースβコース(旧体育コース)に在籍している。コンテストでは、夏の甲子園大会に出場した野球部での経験をもとに「居心地の良い場所から抜け出し、挑戦することが成功の道である」を題材にスピーチした。

コンテストの審査員の一人で福岡教育大学の中島亨教授は「今大会は第一部、第二部ともに高校生のスピーチとしてはレベルが高く審査はもめた。なかでも張くんは、一番自分についての話を自分の言葉で語っていた。スピーチ原稿はもとより、実際のスピーチも素晴らしい。オリジナルの体験を基にした点が高

評価に。甲子園に出場した野球チームの所属、そして英語弁論大会で全国出場も決めるなど、文武両道を究めている素晴らしい人材」と評価した。

張くんは「九州大会はレベルが高かったが、自分の最高のパフォーマンスを出せた。全国大会を楽しみにしています」と大会終了後にコメントした。



張博瀚君

# 横手市が台北の大学で 特別授業

横手市が台北の大学で特別授業(写真提供:中央社)  
台湾における横手市接入口ネットワークの構築事業  
— 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業 —



秋田県横手市は11月16日、台北の大同大学で、市の情報発信強化に向けた特別授業を実施した。日本の総務省が推進する「関係人口創出・拡大事業」のモデル事業の一環として開かれたもので、市の魅力を学生に継続的に発信してもらおうのが狙い。講師として招聘した台湾の作家や有名ブロガーがSNSでの情報発信の技を学生らに伝授した。

横手市は2015年より、国際的産学官連携モデル事業として台湾との交流を推進している。2016年からは大同大とのインターンシップ事業を展開し、夏期休暇期間に市内企業が学生の受け入れを行っている。4年目の今年は学生10人が参加した。

今年度の「関係人口創出・拡大事業」モデル事業として採択された取り組みでは、これ

まで培ってきた交流を基に、大同大で情報発信に関する特別授業やワークショップを開き、参加学生の中から2人をPR大使に任命。台湾向けに市の魅力を発信させるほか、来年2月には4泊5日の日程で市に招聘し、第三者の視点から見た市の魅力の発掘を目指す計画も。

一方、特別授業には日本語を学ぶ応用外国語学科やデザイン学部の学生30人が参加した。横手市からは市職員や市内企業の代表ら計10人が出席し、学生は講師による講義や横手市に関する説明を聞いたほか、実際にフェイスブックやインスタグラムでの投稿にも挑戦した。

同市の村田清和総務企画部長は「今回の事業はSNSでの発信拡大が狙い」とした。「一般の暮らしの中で当たり前だと思われているものが、外から見ると実は面白かったり、不思議だったりする。それを(外部の人から)見つけてもらえれば、お互いに楽しいのではないかと期待を寄せる。今回は大同大の学生のみが対象だが、今後は他大の学生にも声をかけて動こう」との声が大同大を通じて出ているという。「実現すれば、本当に『拡大』事業。すごくうれしい」と胸を弾ませる。「(市の魅力が)他の大学やその他の人々に伝播していき、『おっ』と思ってもらえればありがたい」と話した。

# 対台湾投資、 去年は約1700億円で07年以降最多

日本企業の2018年(通年)の対台湾投資額が15億2000万米ドル(約1660億円)に達し、2007年以降過去最多額となった。台北市内で11月8日に開かれた「台湾・日本サービス産業交流フォーラム」で、台湾経済部商業司の陳秘順副司長が述べた。また、投資を行う企業は「過去主力だった製造業からサービス業に拡大し多様化が進んでいる」とした。

日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会台北事務所の星野光明副代表は「日本ではタピオカの今年上半年の輸入量が過去最多の15億円となり輸入先の85%が台湾

と説明。「サービス業界における日台関係がある一定のレベルに達した事を意味する」との見方を示した。

なお同フォーラムは日台間の協力により、交流強化や商機創出を目的に、台湾経済部が2017年よりシンクタンクの商業発展研究院に委託して開催されている。今年はテクノロジーの転換や東南アジア市場進出などにスポットが当てられた。同院の許添財会長は「日台双方が手を組み、互いの商品や販路、人脈を生かせば市場開拓の成功率が大幅に高まる」と述べ、協力のさらなる深化に期待した。



日本住友は台湾企業に投資した(写真提供:中央社)

# 最も好きな国は「日本」 が59%で過去最高

日本台湾交流協会は11月13日、台湾人を対象にした対日意識に関する最新の世論調査で、最も好きな国として「日本」と回答した人が59%だったと発表した。2016年実施の前回調査より3ポイント増加し、2008年の初調査以来過去最高だった。

日本は2位以下の中国(8%)、米国(4%)を大きく引き離れた。年齢別にみると、日本を最も好きだとした割合は65～80歳で前回より2ポイント減り48%となったが、それ以下の年齢層ではいずれも上昇し、50%を超えた。30代は70%に達するなど最高の数値だった。

台湾が最も親しくすべき国では、日本が37%で最多となり、前回の39%からわずかに減少。中国と回答した人が2番目

に多く、前回の22%より9ポイント増の31%で日本との差を縮めた。

また、台湾に最も影響を与えている国については、中国(45%)と米国(33%)が多かった。ただ、中国と回答した数値は前回より5ポイント減少し、日本と回答した人は前回比4ポイント増の15%だった。日本を信頼できるか、については50%が「信頼できる」とした。その理由に「自由・民主主義・基本的人権・法の支配といった共通の価値観」とした回答が68%で最多。一方、信頼できるが「分からない」は40%だった。

なお、調査は今年の2月中旬より下旬にかけて、台湾本島に住む20～80歳の男女を対象にインターネットと電話で実施。有効回答数は1003件だった。

# 幸福実現党江夏幹事長ら来社で 銭社主と懇親

幸福実現党(東京都港区=大川隆法総裁、釈摩訶衍党首)の江夏正敏幹事長、七海ひろこ広報本部長、森國英和選対委員長代理はこのほど、台湾新聞社を訪れ、本紙社主銭妙玲と懇親した。党の議員9人を含む議員団13人を結成し、台湾台北市に三日間、党として公式に訪台した際の報告などがなされた。また、2020年の1月に行われる総統選挙について熱心な議論も展開された。

江夏幹事長は訪台して台湾を「兄弟みたいな国」と感じ、森國選対委員長代理は「米国からの台湾に対する支援が最近多い気がしました」と話した。また、党として、今般の訪台で「日台国内法(法制化)」に向けた成立を党として支援したいとの意識がさらに強まったと話し、「現在の日台の人間関係は強い。法制化によりそれをさらに強固なものにしたい」と話した。

これを受けて銭社主は「これからは弊紙は政党、思想については公正中立な立ち位置で報道機関としての役割を果たしたい。日本台湾の友好に感謝します」と話し、「今度は台中、台南、高雄などの都市も見たい」と希望した。

同党は今後も継続して訪台して支援や協力をする構えで、今回の来社で今後も継続して互いの情報交換を行うとした。

## 台湾大学生のインターンシップ制度及び就職マッチング企画

台湾新聞社は優秀な台湾人大学生の日本企業への就職の案内、紹介、斡旋する企画を立案しました。マッチング企画としてご案内します

### 日本の企業様へ

- ①台湾大学の海外への就職情報を提供します。
- ②台湾人大学生の日本への就職を希望する人材を紹介します。
- ③台湾の大学に訪台して直接面接する機会を提供します。
- ④就職及びインターンシップのどちらにも対応します。
- ⑤日本語などの語学支援(教育支援)や日本の居住先の相談もお受けします。
- ⑥台湾の大学生向けに自社のPRができます

### 企画内容は

- ①事前に台湾の大学生の就職状況及び日本企業への希望者などの情報を提供。
- ②二泊三日の日程で訪台し、台北市及び台南市などの主要大学2大学に訪問し、直接大学の就職担当者及び大学生と面接できます。
- ③訪台費用は一人当たり暫定で約20万円(渡航費宿泊費台湾移動費などを含みます=税別)。
- ④台湾大学生の訪日に関する事務手続きも代行いたします。

★第一回の実施時期は令和2年3月頃を予定

郵送宛先=株式会社 台湾新聞社 留学センター 協賛:一般社団法人日進人材協会  
〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4 ★協賛者募集中  
TEL03-5917-0045  
メールアドレス=info@taiwannews.jp



# Digest News / November 2019

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

## Nov.1 台湾が「一国二制度」の完成方針を拒否

中国共産党は、北京で10月31日まで開かれた第19期中央委員会第4回全体会議(4中全会)の閉会後に発表したコミュニケで、「一国二制度」を堅持して平和的統一を推進する方針を示した。これを受けて台湾対中政策を担当する大陸委員会は声明を発表、「台湾の人々が『一国二制度』を固く拒否するサインは明確だ」と反発した。中国新華社通信が公表したコミュニケによる

と、台湾に関しては、「台湾の同胞の福祉を保障する制度的取り決めと政策措置」を完全な形にし、「多くの台湾の同胞と団結して共に台湾独立に反対し、統一を促進していく」とした。なお会議は10月28日から4日間開催され、「中国の特色ある社会主義制度の堅持・完成と、国家統治システムと統治能力の現代化に関する決定」が採択された。

## Nov.2 呂秀蓮元副総統氏が出馬断念

台湾の呂秀蓮元副総統(75)が来月11日の総統選への出馬を断念すると発表した。独立派政党「喜楽島連盟」などの支援を受け、署名方式での立候補を模索していたが、署名が規定数の約28万人分に及ばなかったという。署名提出の締切日の声明で「署名活動中、脅迫や妨害を受けた」と訴えた。呂氏は台湾の北部桃園出身で米ハーバード大学法学修士。民主化要求の民主隊を国民党政権が弾圧した1979年の「美麗島事件」に関わり約5年間服役した。出所後、立法委員、桃園県長などを経て

2000年に発足した民進党・陳水扁政権で副総統を2期8年務めた実績がある。



呂秀蓮元副総統氏(写真提供:中央社)

## Nov.3 林伯豊氏が旭日重光章〜秋の外国人叙勲

日本政府が発令した2019年秋の外国人叙勲で、台湾から経済団体「中華民国工商協進会」理事長で台湾ガラスグループ会長の林伯豊氏が旭日重光章を受章した。経済分野における日台間の関係強化に寄与した功労が認められた。林氏はこの工商協進会の発した報道向け資料で「この

上ない名誉」と喜びを表した。工商協進会は近年、日本の商工団体や地方自治体との交流を積極的に推進。九州や北海道、四国などの経済連合会と覚書を締結し、フォーラムや商談会を共同で開くなど、日台の企業を結びつける役割を担っている。

## Nov.4 台湾のサッカー協会と松山市が連携協定

台湾の中華民国サッカー協会は、愛媛県松山市と連携に向けた協定書を締結した。東京五輪の出場権獲得や選手の實力強化をともに目指し、協力していくとの方針を示した。協定締結は、本年より台湾女子代表チームの監督を務めている越後和男氏の仲介により実現。野志克仁松山市長は「台湾の女子代表が同市にトレーニングなどで訪日の際、あらゆる面でサポートする」との姿勢を示した。台湾の女子代表は来年1月にも日本遠征で同市を訪れる。その際には愛媛県女子サッカーチーム、愛媛FC

レディースと交流試合を実施する予定。同2月には東京五輪の予選にも臨む。



締結の様子(写真提供:自由時報)

## Nov.8 台湾鉄道の次世代監視システムに物議

台湾交通部鉄道局は、台湾台中市の豊原駅で進められていた次世代型映像監視システムのテストを一時停止すると発表した。同システムは、駅のロビーやエスカレーター、プラットホームなどに設置され、ホームからの転落や不審者、不審物など、潜在的なリスクを感知して警告を発するなどの機能がある。しかし、実装されていた顔認識機能には、プライバシー侵害の懸念があるとの声が多くあり、台湾鉄道管理局は6日、同機能の使用見送りを発表した。さらに、今度は中国製の防犯カメラが機器の一部に使われていたことが発覚。目下、物議を醸している。台湾は現在、国家に危害を及ぼす恐れのある情報機器を排除するための規制が定められており、一部の中国製品が

規制の対象となっている。同局は当初、システム導入に際しこれらの規則を順守してきたと強調していた。今後は、顔認識機能を取り除き、中国製品を交換して安全性への懸念を払拭させ、台鉄に引き渡すとしている。



豊原駅(写真提供:自由時報、台鉄)

## Nov.13 米軍艦、今年9度目の台湾海峡通過〜航行の自由作戦

台湾国防部の厳発元部長はこの日の午前、米軍艦1隻が12日に台湾海峡で「航行の自由作戦」を実施した事を明らかにした。台北市内でメディアの取材に応じた。同部が公開している資料では米艦の台湾海峡通過は今年に入って9度目。軍関係者によると、台湾海峡を通過したのは米海軍のミサイル巡洋艦「チャンセラズビル」(CG-62)。台湾国防部の報道資料では、同艦は台湾海峡を北から南に向かいバシー海峡に進路を取ったと発表した。また、全行程を把握しており異常はなかったとして国民に安心するよう呼び掛けた。厳氏は、「米トランプ政権は最近インド太

平洋戦略や地域の平和、安定、安全に強い意欲を見せている」と述べ、地域の平和を守る米国の行動は理解できるとの考えを示した。



米軍艦(写真提供:自由時報、美联社)

## Nov.14 台湾新幹線のラッピング列車は来年9月まで

台湾高速鉄道は、日本人イラストレーターのカナヘイさんとコラボレーションしたラッピング列車の運行を開始した。人気キャラクター「カナヘイの小動物ビスケ&うさぎ」が車掌や客室乗務員、駅係員に扮したイラストが車体に描かれている。さらに車内のヘッドカバー

にもビスケ&うさぎのイラストが。運行は来年9月まで。運行に合わせコラボ限定商品14種も発売。車内販売、駅構内の自動販売機、高铁のネットショップ「TSHOP」などで購入できる。また、車内ではコラボ版のホットコーヒーとホットティーの販売も数量限定で行う。

## Nov.14 華為のスマホ3機種種の販売停止を要求

中国の通信機器大手「華為技術」(ファーウェイ)のスマートフォン3機種種の表記がこれまでの「台湾」から「中国台湾」に変更されたを受け、台湾国家通訊伝播委員会通信及び放送事業を監督する国家通訊伝播委員会(NCC)が通信大手5社と代理店に対し、当該機種3種の販売停止を求めた。機種はP30、P30 Pro、Nova 5T。表記変更はソフトウェア更新後に行われていた。世論が物議を醸していた事を受け「事実と異なる表記は国家の尊厳を損ねる」などを理由に、元に戻すよう業者に要求していた。NCCの蕭新宏報道官は、表示が正

常に戻るまでは3機種種の販売を禁じるよう、14日午前までに通信大手や代理店に書面で通達したとしている。



華為(写真提供:自由時報、路透)

## Nov.14 弘前市から台湾の福祉団体にリンゴ寄贈

「台湾の恵まれない子どもたちに日本からの思いやりを届けたい」。青森県弘前市から台湾新竹市の福祉団体に青森産リンゴが寄贈された。鎌田雅人副市長は、台湾の大手デパートで、この日より開催された「弘前物産展」に合わせ、弘前市物産協会、弘前観光コンベンション協会の職員らとともに訪台。開幕イベントに出席した。弘前市から子

どもたちのために用意されたのは、黄色品種「トキ」108個。このほか、物産展を主催したデパートからも生活用品が贈られた。貧困家庭の子どもたちを支援する「新作家扶センター」の沈俊賢主任は「温かい気持ちで伝わった」と感謝した。物産展は新竹市のほか、台中市、高雄市では12月1日まで。

## Nov.17 台湾語で2万人が大合唱〜香港支援コンサート

反政府抗議活動が続く香港にエールを送るコンサートが台湾台北市の中正紀念堂前の自由広場で開かれ、会場には2万人超(主催者発表)が集まった。デモ隊のテーマソングとされる「香港に栄光あれ」の台湾語版も大合唱された。コンサートは7組のアーティストが出演。先陣を切ったロックバンドのファイヤー・イー・エックスは、香港の作詞家、アルバート・レオンさんとコラボレーションした「シティー・オブ・サッドネス」や、2014年に台湾で起きたひまわり学生運動のために書き下ろした「この島の夜明け」を熱唱。伝統楽器、月琴奏者の陳明章さんは、香港市民にささげる「香港!自由」を歌い上げた。コンサ

ートでは、香港を応援するために作られた楽曲を集めたアルバムも限定販売され、売り上げは抗議デモのけが人や関係者を助ける「612人道支援基金」に全額寄付されるという。



コンサートの様子(写真提供:中央社)

## Nov.18 道頓堀グリコ看板脇に台南のPR動画

大阪の道頓堀で台湾台南市の魅力を伝えるPR動画が放映された。動画は台南市内の孔子廟や青果市場、マンガー、ブタン、パイナップルなど、おすすめスポットや特産フルーツが紹介された。場所は、道頓堀名物のグリコの電光看板の近隣にある戎橋筋商店街で、大型LED画面4面に渡って映し出されていた。放映期間は1週間だった。また、24日からは道頓堀川の遊歩道「とんぼりリバーウォーク」でドライマンゴーの試食などができるPRイベントも開催された。これらの取り組みで「日本人観光客が台南市を訪れて地元の農産品

を味わってくれれば」との期待も込められた催しだった。



台南のPR動画(写真提供:中央社、台南市政府)

## Nov.19 駅構内のトイレ清掃に日本の技術を導入

台湾鉄道管理局は、国連が制定する「世界トイレの日」に当たるこの日、駅構内のトイレ清掃に日本のメンテナンス技術を導入したと発表した。旅客者へより快適なトイレ環境の提供を目指す。台鉄の駅トイレ清掃を請け負う台北市のスペースグループが今年4月、トイレメンテナンスを専門とする日本のアメニティ(神奈川県)と協力覚書を締結。同グループの林錦堂会長自ら技術者を率いて訪日し、「トイレ診断士」のスキルを学んだ。トイレ診断士は、日本の厚生労働省の社内検定制度で認定されている技能。換気回数や臭気濃度、排水のチェックなどを総合的、科学的に判断し、適切なメンテナンス方法が提案できる。これにより事前対策が可能となり「予防型メンテナ

ンス」に不可欠とされる。新技術の導入で「臭い、汚い、暗い、怖い」とされるトイレの4K問題を改善し、「経済、教育、環境、健康」という新しい4Kトイレ文化と環境を作り上げたいとしている。



台鉄はトイレ清掃に日本のメンテナンス技術を導入した(写真提供:中央社、台鉄)

## Nov.23 中国の台湾選挙介入に蔡総統が警戒呼び掛け

台湾蔡英文総統は台湾東部花蓮県で行った選挙活動で、中国による選挙介入について触れた。「台湾の主要選挙に影響を与えようとする意図が非常に明確で、過去の重要選挙でも見られた介入の影はますますはつきりしてきた」と、国民に警戒を促した。また、「中国の元スパイが台湾に潜入し選挙干渉に関する活動を行っ

た」と豪州の複数のメディアが同日報じたこともあり、さらに、与党・民進党の選挙広告の映像がこのほど中国出身とみられる者によって変造されたことを引き合いにし、「台湾の民主、選挙制度は、あらゆる手段を講じる中国に破壊されてはいけない。台湾の最重要資産だ」と危機感も示していた。

## Nov.23 台湾で不法残留36年の日本人男性が出頭

台湾で36年間不法残留していた日本人の男(82)がこのほど警察に出頭した。男は帰国を希望しており、日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会が郷里の家族との連絡を試みている。男は現在、台湾東部の花蓮県富里の山間部で一人暮らし。供述によると、採掘業関連の仕事で訪台したが経済的に困窮し、知人の女性を頼りに現在地に。生活費は臨時労働などで賄ってい

た。知人女性の死去に伴い、家屋を相続した娘より男の存在が明らかに。花蓮県警察局玉里分局東里派出所の調べでは「男性は1983年に観光ビザで入境」とし、台湾内政部移民署花蓮専勤隊は「本籍地が静岡県伊東市で60歳前後の息子がいる」と調査済み。現在、交流協会が照会と連絡に当たっているという。

## Nov.24 花蓮市と盛岡市が友好都市に

台湾東部の花蓮県花蓮市(魏嘉賢市長)は、岩手県盛岡市(谷藤裕明市長)と友好都市協約を締結した。花蓮市内のホテルで式典が催され、魏市長と谷藤盛岡市長が署名を交わした。魏市長は観光や産業、文化などの分野での交流深化と双方の友好関係の継続に期待を寄せた。花蓮市内で同23日、温泉とフロート車をテーマにしたカーニバルが開催され、盛岡の山車も運行された。盛岡の山車は2002年に初めて花蓮に披露され、今回で4回目。谷藤市長は「これまでの交流が互いの信頼と友情を深めた」と述べた。また、2011年の東日本大震災の際、台湾から寄せられた支援に改めて感謝の意

を表した。さらに「台湾砂糖の父」とされる新渡戸稲造が盛岡出身である事に「市民は誇りに思っている」と盛岡と台湾のつながりも紹介した。



花蓮市は盛岡市と友好都市協約を締結した(写真提供:自由時報)

# 1年間の台湾インターンシップ生受入企業募集中

グローバル化に対応した台湾人の人材を活用しませんか? ※社宅など不動産の協力が必要な場合、バックアップさせていただきます。

近年日本ではインバウンド事業が盛んとなり、グローバル化により外国人人材の需要が求められています。台湾には、将来性ある優秀な台湾学生が多く、その人材を活用する事で、グローバル化する日本社会に対応する事ができます。

臺灣新聞社では、台湾のインターンシップ生を必要とする企業様を募集し、グローバル人材の活用をサポートします。契約期間は1年間ですが、その後正社員雇用も可能です。詳細は下記までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

☎03-5917-0045 ▲〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4  
TAIWAN NEWS ◆東京発行 ☎03-5917-0047 ✉info@taiwannews.jp

## 台湾新聞

《台湾新聞》為民營媒體、非政府發行刊物、以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片、非本公司同意、嚴禁轉載刊登。《台灣新聞》同時提供報導資料銷售服務、如個人、團體有需要、敬請多多利用並洽《台灣新聞》。此外、個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務、歡迎直接洽詢《台灣新聞》。

「台湾新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等のご依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご利用ください。

《台湾新聞》提供以下付費サービス:

- 企業広告配合、僑社活動探訪
- 僑社團體網路部落格設計(包含台灣新聞採訪報導使用權費用)
- 採訪照片提供
- 企業網站設計服務
- 企業広告、華僑会社イベント取材
- 華僑会社団体インターネットブログ設計(台湾新聞取材報道、使用費用権を含む)
- 取材写真提供
- 企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請洽《台灣新聞》  
03-5917-0045或info@taiwannews.jp



ドキュメンタリーのきっかけ 第十二回

私的なドキュメンタリーの心構え⑫



■文：林 雅行(映画監督)

に日本でもなじみの薄い「湾生」(その名称と存在)。

(Q3) 製作の手順は? (A) 撮影の前にペン取材をかなりの時間をさく。資料や関連書に目を通す。本の虫である私は一向に苦にならない。

例えば「湾生」の作品に取りくむにあたってはご本人への事前取材や手記はもちろん彼らが生きた日本統治時代の台湾、引揚者の記録などである。そうしたベースを自分の中で作っておかないと撮影の時に湾生の話にコミットできないからだ。(TV業界ではとりあえず撮影しておけばよいという傾向がある。失笑)。

(Q4) 証言をとる時に注意していることは?

(A) ペン取材の時とカメラの前で違ったことをいわれることもある。日時、場所などの記憶違いは誰にでもある。話して頂いたことを資料と同じ境遇にいた方など裏づけを必ずとるようにしている。

国民党老兵の取材の時、最初のペン取材にあわせてご本人に経歴、軍歴を記してもらった。退役軍人の事務所からも階級なども記した軍歴、中国大陸での出身地や台湾での身寄りの有無などを記したデータを提供してもらった。1人の人間にペン取材、カメラ取材を2回行った。3回目に会った時、自分の記憶間違いを訂正する人も。「後で同じ部隊にいたのと話したら俺が勘違いしていたよ」と話された。相手が話すことを裏づけをとらずに作品化することは私はない。単なるインタビューでしかない。ニュースでもリポートでもないのがドキュメンタリーである。

時がたつても色あせない、逆に記録として輝きが増すような作品を作りたいそのために精進したいというのが私のモットーである。

(次回からは新連載に)。

2003年から2019年の15年の間に10本のドキュメンタリー映画を製作した。まずは沖縄戦の白梅学徒隊、長崎の原爆で4人の子をなくした夫婦の物語、空襲で身体障害者(戦災被害者)となった女性の半生、戦災被害者の証言集。これらは戦争を生きた人々を描いた作品だ。台湾を描いたのは、九份のある坑夫の人生、戦前、東洋一の規模を誇った金瓜石鉱山の日本人と台湾人の記憶、国共内戦後、台湾に渡って来た国民党老兵、金門島の包丁職人、湾生についての2つの作品である。

よく若い映像志望の方から「ドキュメンタリー」についての質問を受ける。私はドキュメンタリー論など語れないので、具体的な質問に答えることにしている。そこでよく受ける質問である。

(Q1) テーマの設定は? (A) 自分で選定する。そのきっかけは今まで本紙で書いてきた。私の作品には企画者とか発案者とかは存在しない。自分が取りくんでみたいという対象は、自分の眼と心で感

じるのがスタートである。(Q2) ドキュメンタリーといってもいろんな種類があるが?

(A) ドキュメンタリーという言葉が氾濫している。紀行、街歩き、事件の掘り下げ、社会問題、科学、歴史、文化などで、バラエティやドラマの要素が過剰に含まれるものもある。証言を集めてドキュメンタリーという類もある。

そこで私の視点

①「人間」に関心がある。その人の歩んだ道、生きた時代に関心がある。

②とくに祖父母、父母が体験した戦争という時代背景はおさえておきたい。

③いましか撮れない、歴史として残しておきたいと思ったテーマを選ぶ。

さて私は自分でいうのも何だがへそまがりなところがあり大勢が目を向けていないものを選ぶ。

九份は観光客が目につくれない金鉱の歴史、日本人観光客などほとんど訪れない金瓜石、台湾社会で疎んじられる大陸から来た国民党老兵、中台の軍事衝突の金門島。さら

てくてく台湾旅④

松田義人(deco/編集者・ライター)

台湾初!斗六駅に隣接する立ち飲み屋



斗六駅隣接の「ほろよい」。

台湾旅で、唯一いつも困るのが晩酌問題

「ほろよい」のいかり豆が絶品!

僕が台湾に行くときはだいたいレンタカーで移動で、1日数時間ずーっと自動車を運転しているため、夜はリラックスしてお酒を飲んでグッスリ眠る……というのが習慣です。

しかし、この「お酒」というのが台湾ではちょっとネックです。日本のように居酒屋があちこちにあるわけではなく、あったとしても、1人では入りづらい熱炒(台湾式居酒屋)だったり、飲食店だったりします。さらに「ちょっと一杯だけ強めのお酒を飲みたい」というのはダメで、紹興酒にしても高粱酒にしても、ボトルでないと出してくれません。

このことから日頃の僕は夕飯を採る前に、まずコンビニでビール、強めの高梁酒や竹葉青酒の小瓶を買い、歩道のベンチなどで一杯やり、その後、本格的な食事をして寝る……という流れを定番としています。

しかし、どうして台湾には居酒屋が定着しないのでしょうか。1人でも、お酒を楽しむ人が少ないからなのでしょう。これだけはいまだに謎なのですが、今年の夏、雲林の斗六に宿泊した際、駅前に、僕のような旅行者にとって超理想的な居酒屋を発見しました。その名も「ほろよい」です。

そのツイッターを見て僕は驚きました。台湾の情報を写真を交えながらアップされているのですが、どれも普通のガイドブックになく、知識先行の台湾への視線でもなく、ごく普通の「今の台湾」「台湾の日常」を切り取るようなものばかり。僕が欲しかった情報やネタが多く取り上げられています。

そして、さらに驚いたのが「おっさん+」さん自作による台湾にまつわる作品の発表でした。

ご存知の通り、台湾の街角の檯店にはよく扇型のレインボーの電光掲示板がチカチカ光っていますが、このミニチュア版をUSB仕様にして自作されています。もちろん点灯パターンも再現しており、パソコンに差せば、机の周辺が台湾の街角になるというもので、「これは欲しい!」と思いました。

また、「おっさん+」さんは、日本製ミニカーの「トミカ」を走らせる台湾の町並みを自作し発表されています。饒河街夜市、東港、鹿港などがトミカ仕様に自作されているのですが、当初僕は「これは台湾で売られている物なのではないか?」と思ったほどの完成度の高さでした。

主観ですので、違っていたら失敬ですが、「おっさん+」さんはおそらく僕と同じ、あるいはそれ以上の「今の台湾」偏愛型ファンの方なのではないか?と思いました。

一般的に多い台湾の楽しみ方ももちろん良いですが、こういった「今の台湾」に愛を持つ方の発言、作品に注目すれば、次の台湾旅行がさらに楽しくなるヒントが見つかるかもしれません。

Advertisement for Kurosawa Group (黒澤合同事務所グループ) featuring legal services, real estate, and international tax. Includes contact info for Tokyo and Osaka offices.

Advertisement for Jintoku Temple (日本大道院純陽宮) for the 2020 New Year festival. Includes a map showing the location near JR Atami Station and contact information.

Advertisement for Japanese real estate law services (日本法律停・看・聴) regarding non-resident transfers. Includes detailed text about tax implications and procedures.

Advertisement for the 2020 New Year festival (無量壽佛 2020年【庚子年】) at Jintoku Temple. Includes details about the festival dates, activities, and ticket information.

代表處經濟組組長周立(中)、貿協東京事務所主任陳英顯(左)、亞太組專員張珮瑩(右)合影



### 貿協生活雜貨用品商談會 展現台灣設計實力

【東京／採訪報導】由經濟部國貿局和外貿協會主辦的「台灣生活雜貨用品商談會」於十一月八日在東京登場，約20家台灣廠商參與，包含手提包、袋類與盒、日用雜貨、醫療照護、健康照護用品、文具、食品、創意商品等，吸引近兩百位日本業者到場。

貿協每年都會與國貿局配合舉辦拓銷團，前往各國拓展商機，市場拓展處亞太組專員張珮瑩表示，這次是亞太組今年繼七月、九月後第三團商談會，不僅在東京和大阪舉行，第一站已在韓國首爾舉行，而日本這裡的大型拓銷已經建立起好口碑，參加的人數都相當多。

貿協東京事務所所長陳英顯表示，近年來台灣設計能力大幅提升，提案中優良的設計產品越來越多，擁有供應能力的廠商也越來

越多，受日方歡迎，廠商都踴躍出席，是台日之間的新商機，也證明台灣不僅科技產業，在生活產業上也能提供好的文創設計商品。

來自台灣燕麥酥片的品牌「巧思」，創辦人黃淑君秉持著健康的理念，以一塊晶圓餅乾讓全世界看見台灣。原是半導體科技員的黃淑君從自己創業到現在不到四年的時間，已獲得無數大獎，也與雅詩蘭黛、Tiffany等大廠聯名合作，此次來日本是為了要尋找可以一同協助進口商，特地參加貿協的商談會，希望全世界可以看到她的堅持與創意，烘焙出台灣的驕傲。

台灣知名原創包包品牌Satana這次是第一次赴日，主打旅行款式為主，營運部經理岳德超表示，Satana的包包都是主打輕、人性

化等設計為主，透過使用尼龍材料減輕包包重量，也以消費者使用習慣為基準測試功能設計，目前在香港和上海都有販售，這次來日希望能找到合作廠商，讓日本消費者也能擁有百分之百台灣原創包包。

仙蒂國際則主打光能自轉地球儀，利用地球在太空懸浮的概念，並將摩擦力去掉，僅需要一些光提供的供能，就能永恆的轉動下去，地球儀的內容還能客製化，新奇的商品該產品曾獲得日本綜藝節目介紹，協理洪楠翔表示，目前公司在大阪有經銷商，不過日本是非常有潛力的市場，特別是明年東奧的商機，希望能有更多合作。



仙蒂國際這次主打光能自轉地球儀



台灣知名原創包包品牌 Satana

簽署儀式後也招開記者會

### 臺日簽署合作備忘錄記者說明會



### 台日簽署4項備忘錄 擴大專利農產環保交流

【東京／採訪報導】台日經濟貿易會議於十二月二十九日、三十日在東京大飯店登場，除了討論雙邊經貿領域的議題外，也在會議結束後，簽署專利審查、有機農產品，以及環境保護四項合作備忘錄(MOU)，擴大台日交流的層面。

此次會議結束後，由台灣日本關係協會會長邱義仁和日本台灣交流協會會長大橋光夫代表簽署，包括「台日專利審查快速通路(PPH)相互合作備忘錄」、「台日設計專利優先權證明文件電子交換相互合作備忘錄」、「台日環境保護交流與合作瞭解備忘錄」及「台日間促進進出口有機食品合作備忘錄」四項合作備忘錄。

陳執秘表示，我們希望藉由跟日本的合作，把處理垃圾問題、氣候變遷和空氣污染防治的先進技術推展到新南向國家。而台灣環保技術在世界上也是頗具知名度，我們希望這些技術能與日本一起合作，簽署這個MOU，日本和台灣一起合作。

經濟部智慧財產局資料指出，日本是外國人向台灣申請專利最多的國家，去年以14,169件奪冠，發明專利與設計專利更分別以12,871件及1,224件位居首位，台灣人赴日申請專利的年申請量也達3,000件，因此為了提升雙方審查服務，這次共簽訂兩份MOU，將有效縮短審查速度。

農糧署主秘陳啟榮指出，台灣目前有簽署機同等性的國家有22個，而在新的有機農業促進法是在去年立法通過，今年開始實施。而原來簽署的國家，必須在明年的五月三十日之前完成有機同等性的簽署或必要的程序，才能夠繼續用有機名義銷售。每年台灣的有機農產品進口量大概有一萬二千多噸，有這樣的市場價值，進口的金額將近有13億新台幣。所以這是各國很重視的有機農產品的市場。

經濟部智慧財產局資料指出，日本是外國人向台灣申請專利最多的國家，去年以14,169件奪冠，發明專利與設計專利更分別以12,871件及1,224件位居首位，台灣人赴日申請專利的年申請量也達3,000件，因此為了提升雙方審查服務，這次共簽訂兩份MOU，將有效縮短審查速度。

專利審查官兼科長吳俊逸表示，如果可以透過這個「專利審查快速通路」的實施，在其中一個國家的審查結果可以提供給第二個國家來使用的話，對於審查速度的增加會非常有幫助。像是目前一般在台灣申請發明專利的審查時間，第一次通知大概要9個月，但是如果以台日的「專利審查快速通路」，我們之前的試驗計畫的實施情形來看，大概只要1點多個月就可收到第一次的通知。

過去台日之間無有機農業同等性，導致雙方的有機產品都只能用一般農產品的名義銷售，陳主秘表示，這次的簽署對產品的附加價值或是市場的開拓都很有幫助。現在台灣經過有機認證的產品總共有9250公頃，要為台灣的農產品找到更好的市場，而日本的消費力或消費人口都是值得我們台灣有機農產品來大力開拓的市場。

專利審查官兼科長吳俊逸表示，如果可以透過這個「專利審查快速通路」的實施，在其中一個國家的審查結果可以提供給第二個國家來使用的話，對於審查速度的增加會非常有幫助。像是目前一般在台灣申請發明專利的審查時間，第一次通知大概要9個月，但是如果以台日的「專利審查快速通路」，我們之前的試驗計畫的實施情形來看，大概只要1點多個月就可收到第一次的通知。

吳科長說，這部分對申請人想讓他的產品上市到市場上有專利權保護的話，是非常有幫助的，因為若急於上市，但如果沒有專利權保護的話，可能會擔心在市場上公開很容易被仿冒。所以這是「專利審查快速通路」由試行計畫轉變為正式計畫的一個好處。

陳主秘也說，現在有將近十個國家在跟台灣洽談有機同等性，日本是第一個完成簽署的，所以這個代表的意義更重大，等於是開啟台日有機農業的新頁。完成簽署之後，政策和管理制度等於是確立了，雙方就經過有機農產品進出口的細節，再做確認之後，最快在明年初就可以開始來進口，不過未來每年雙方都要持續確認有機同等性的有效性。

吳科長也提到，關於設計專利，每年兩個國家有一千件左右的設計專利在申請，但因為沒有電子文件交換的實施，所有文件還要透過紙本方式來傳遞，成本比較高。透過電子文件交換的實施之後，可方便兩邊的申請人以電子文件交換的方式來減少申請的成本，速度也會比較快。目前跟美國、加拿大這幾個國家都有簽署「專利審查快速通路」。

行政院環保署永續發展室技監執行秘書陳世偉則提到，這次環境保護的MOU是環保署成立32年來第一次和日本環境省簽署。重點包括環境教育、環境影響評估、海洋污染防治、廢棄物的清除、資源回收、毒性化學物質的資源管理、土壤污染的整治，以及世界上常有的環保標章(綠色標章、GREEN LABEL)，甚至在環境的法規、在執法方面，都可以跟日本交流、協議。



台日之間簽署四項合作備忘錄



### 2020台北自行車展 貿協力邀日商踴躍參加

【東京／採訪報導】2020台北國際自行車展覽會將於明年三月在台北南港展覽館舉辦，為促進更多日台交流商機，台灣貿易中心十月三十一日在帝國飯店進行研討會，說明2020年自行車展概況，期望讓更多日商踴躍參加。

台灣自1988年開始舉辦自行車展，今年已邁入第33屆，外貿協會東京事務所所長陳英顯受訪時表示，由於台灣產業發達，剛好今年新的展覽館落成，參加的廠商預計比往年多，展覽內容除了傳統的零件供應商外，今年的特色是新增了兩個不一樣的專區，分別是電動自行車與自行車文化旅遊，配合日本觀光能夠和文化有更多結合，歡迎在日本有推廣騎車旅遊的人也能參加此展覽。

目前日本已籌組20家廠商到台灣展出，外貿協會台北本部專員巫宜學表示，日本不管是自行車產量還是輸出金額都有極其重要的指標，與台的商業合作更是密切，希望能透過展覽推廣給更多人知道台灣出產的自行車是品質高、高附加價值的。

台北國際自行車展覽會於2020年三月四日起正式在南港展覽館一、二館展出，為期4天的展覽，外貿協會預估將會有超過38個國



外貿協會東京事務所所長陳英顯致詞

家、1250家廠商參與展出，展出內容包括自行車旅行、社群媒體、體能訓練與市場行銷等4個部分，同時也會舉辦講座，將原有的製造強項加上模特兒的走秀，以活潑的方式強調自行車零組件的材質與創新變化。

十一月二日起至四日，台灣自行車展也將在幕張展覽館展出CYCLE MODE international 2019，配合「TAIPEI CYCLE d&i」獎項，將展出30件優秀的得獎作品，希望吸引更多對台灣自行車展有興趣的業者踴躍參加這兩場活動。



### 貿協四展聯合記者會 盼深化台日產業交流

【東京／採訪報導】外貿協會於十一月十九日在東京舉行「台灣產業及國際專業展聯合記者會」，COMPUTEX(台北國際電腦展)與TIMTOS(台北國際工具機展)；另有FOOD TAIPEI(台北國際食品展)與Medical Taiwan(台灣國際醫療暨健康照護展)四展，希望能招募更多日商赴台參展、看展。

根據貿協資料指出，日本穩居台灣第三大貿易夥伴，截至今年九月，兩國貿易額已達490億美元，其中台灣外銷至日本的資訊及電子產品、工具機、食品與醫療等產品，占對日出口總額六成，顯現台日兩國在經貿、人員、技術等交流一向十分密切。

明年邁入第四十屆的COMPUTEX 2020，將以「5G」、「人工智慧」、「物聯

網」、「資訊安全」、「邊緣運算」和「創新與新創」作為主題。今年COMPUTEX就有近3,000名日商前來參觀，並在日本貿易振興機構(JETRO)的積極協助下，推薦新創公司參加InnoVEX展區，促成多項台日企業成功案例。

今年的FOOD TAIPEI結合相關設備展，規模創歷史新高，與東京食品展同為亞洲最重要的食品展之一，了有JETRO設立之日本館外，日本奧運主辦單位更積極組團赴台觀展，尋找食材供應合作機會，FOOD TAIPEI為日商拓展全球及採購食品的最佳會展平台，共吸引950名日本買主赴台參觀，為第二大買主國。

TIMTOS則為目前台灣最具規模之展覽，今年共吸引754位日本買主赴台觀展，為第

二大買主國。另外日本指標性工具機及零組件廠，包括如發那科(FANUC)、美捷科(MAZAK)、三菱(Mitsubishi)、帝業技凱(THK)、三豐(Mitutoyo)等都是TIMTOS歷屆參展廠商，代表TIMTOS深受日商信賴。

伴隨日本邁入高齡化社會，醫療器材需求提升，而台灣醫護用品品質佳、性價比高，且擁有強大的ICT產業作為後盾，近年來成功發展「智慧醫療」應用產品，獲得日本業者肯定，2018年台灣對日出口額高達4億1,000萬美元，是第二大出口國，另外貿協也結合上、中、下游醫療產業，舉辦Medical Taiwan，提供最完整的B2B專業展，日本則為該展覽第二大買主國。

貿協東京事務所主任陳英顯表示，這次的四大展聯合記者會因為邀請的對象主要是日本媒體，有六十位日本知名產業及財經媒體、買主與業者，我們希望透過這個機會來宣傳，促進更多日本企業來參展、看展，對於日本企業跟台灣企業的合作是非常好的平台。

這次的記者會貿協除了在記者會中針對四大展覽進行重點簡報，並邀請今年參展的指標業者JETRO、台達電子以及上銀科技分享產業趨勢與參展經驗。其中台達電子今年不僅與NHK合作推出8K的影像紀錄片《水起台灣》，更與森美術館合作，使用8K的投影機呈現出作品，目前也與東京奧運討論，希望能運用8K將精彩畫面轉播給民眾看。



### 因應台日高齡化 透過合作化負債為資產

【東京／採訪報導】台日之間少子高齡化問題嚴重，為此東京之星銀行與台灣商業發展研究院於十一月十八日簽訂協約，透過簽約協定共同研究如何對應少子高齡化，期望兩組織共同合作能為社會帶來新的發展，創造新的市場。

不少認為在社會裡，高齡人口即代表沒有生產能力就沒有產值，且為經濟帶來包袱，但台灣商業發展研究院董事長許添財受訪時表示，這是一個新的經濟結構，是經濟轉型關鍵的力量，因此強調必須將負面的想法轉換成正面、將負債化為資產。

東京之星董事長佐藤誠治在致詞時也提到，雖然高齡化給人帶來的一直都是負面性

話題，但這是可以被改變的，透過簽約共同研究高齡化社會，期盼兩組織在不同經驗的合作下能為社會帶來新的成長與更好的發展，並指出能與台灣研究院共同推動此計畫是非常有意義的，希望雙方共同努力創造出新的價值。

根據數位經濟和網路科技，2018與2019年是數位轉型的新高點，同時也是經濟的開始，但台灣與日本都身處於高齡化社會，一旦沒有解決問題，經濟再厲害也無濟於事，許添財表示，任何國家沒有國際化都走不遠，透過相互合作彼此互補，克服挑戰把握機會，研究如何用新的政策和模式，共同創造出新的市場。



橫濱辦事處長張淑玲、日總會會長河道台、監事長川野榮子與家人合影



# 日本青商火鍋趴 秋高氣爽 橘黃蟹肥

【橫濱／採訪報導】日本台灣商會聯合總會青年部於十一月二日在東永商事舉辦楓葉之旅-麻辣火鍋派對，除了與各地的青年部交流外，也邀請日總理監事成員一同參與，日青秘書長河德明還親自熬煮麻辣湯頭，讓所有人在秋高氣爽的天氣中品嚐到美味火鍋，歡度楓葉情。

這次的火鍋派對在青商會長林怡君和青年部成員的努力下促成，日總會會長河道台也大方借出場地供眾人相聚，不僅是促進日青之間的交流，也邀請了日總理監事出席，特別是日青秘書長河德明從一早就開始熬製高湯，再搭配特調的麻辣湯底，讓從關東地區遠道而來的僑領、理監事都讚不絕口。

橫濱辦事處處長張淑玲也出席共襄盛舉，她表示，很難得能見到很多第二代、第三代的年輕商會成員參加這次的活動，特別是在正值秋高氣爽的假日午後，與大家一同享用美味的火鍋，相信能讓大家留下一個美好的假日，今後也請大家在台日交流上繼續給予協助、支持。

日總會會長河道台表示，今天難得我們青商會主動在橫濱舉辦活動，我想大家平常都是烤肉BBQ等，今天我們就來個麻辣火

鍋。我們第一代在這裡打拼，也需要我們第二代來到日本，繼承我們的事業，或是自己在創一番事業，而我們也有責任輔導青商在日本立足，並進一步擴展到亞洲、世界。

現場除了準備了麻辣火鍋外，也提供了四種肉片和不少道地的台灣火鍋料，活動中也安排了卡拉OK，讓大家能一邊品嚐美味火鍋，一邊高歌一曲，更讓現場氣氛變得熱鬧滾滾，歡笑聲不斷。



紀念合影



張處長也高歌一曲

副代表蔡明耀出席僑界舉辦的歡迎會



# 蔡副代表出席僑界歡迎會 盼增進台日感情

【東京／採訪報導】東京各僑界於十一月十八日在新宿的台南擔仔麵為駐日副代表蔡明耀舉辦歡迎會，慶祝他今年四月上任副代表，蔡明耀也說很感謝這裡的僑胞為他舉辦這場慶祝會，期盼任職的期間能增進台日之間的感情。

副代表蔡明耀受訪時表示，之前他曾待過橫濱、琉球、大阪與東京，前後加起來約13年，如今又回到熟悉的東京上任副代表，雖然主要工作內容不是負責僑胞的業務，但他很感念僑胞一直以來的照顧，並透露自己私底下與僑胞都是很好的朋友，

不管是過去還是現在都會互相關心。據悉，過去舉辦歡迎會都是慶祝他人新任組長，像這樣慶祝副代表上任是第一次舉辦，其中最大原因是因為蔡明耀之前在日本時就已和僑界各團體是好朋友，如今相隔多年又回到日本，為此舉辦歡迎會慶祝升官外，也藉此聯絡彼此感情。

蔡明耀表示，這次回到日本，也還會繼續關心這些僑胞，並跟著駐日代表謝長廷的腳步，在謝代表的領導之下，盡好本分，增進台日之間的友好關係。



蔡明耀與各僑界合影

懇親會紀念合影



# 日本國際媽祖會懇親會 盼會務更上一層樓

【東京／採訪報導】日本國際媽祖會於十一月十日開完第二屆最後一次的理監事會後，隨即在新宿台南担仔麵舉行懇親會，而會長曾鳳蘭也將卸任，由洪益芬接任，她透過這次的懇親會感謝這三任以來代表處和僑界的支持，也希望在媽祖會在新會長帶領下更上一層樓。

駐日代表僑務組副組長文君妃、日本台灣商會聯合總會會長河道台、僑務諮詢委員黃宗敏，以及關東地區僑領都出席這次活動，文副組長表示，很感謝曾會長今年再度率團返台參加國慶活動，以及平時在宗教交流上的貢獻，相信在新會長洪益芬的帶領下，再加上曾會長的幫助，日本國

際媽祖會的會務能蒸蒸日上，計畫也會順利成功。

日本國際媽祖會的前身為日本媽祖會，由人江修正於1979年創立，在曾加再擔任會長期間改名為日本國際媽祖會，開始積極走向海外，曾鳳蘭表示，在東南亞已有好幾個姐妹會，也有五、六個在洽談中，另外美國西雅圖、瑞典、非洲也都有姊妹會，而媽祖會沖繩石垣島市長中山義隆捐贈一塊地，作為興建媽祖廟的預定地，希望在兩三年內興建完成。

曾會長也提到，很謝謝這幾年來僑界和代表處的支持，沒有大家就沒有今天的媽祖會，而洪會長是非常好的人選，過去曾擔任過橫濱台商會跟華僑總會會長，在僑界的經驗也相當豐富，預定十二月開第三屆會長第一次理監事會，明年二月底舉行交接典禮，屆時也會準備一面新的日本國際媽祖會會旗，希望媽祖會在洪會長帶領下更上一層樓，自己也會全力支持並輔導新任會長，讓會務發展更加順利。



# 橫濱台灣餐飲聯誼會忘年會 眾人熱鬧齊聚一堂

【橫濱／採訪報導】橫濱台灣餐飲聯誼會於十一月二十日在五味香餐廳舉行忘年會，聯繫眾人的感情，會長張志銘準備的豐富台灣料理獲得大家的好評，場面也非常熱鬧，張會長期望明年大家都能平安順利，生意越來越旺。

會長張志銘受訪時表示，過去忘年會都是於十二月在會長的餐廳舉辦，但因為今年大家時間比較繁忙，因此提早至十一月舉辦，而原訂十二月舉辦的保齡球活動也延至明年舉辦，另外明年也會兩次的BBQ旅行活動，讓餐飲聯誼會的朋友們能多多聯繫感情。

張會長也說，看到大家聚在一起感到非常

高興，橫濱台灣餐飲聯誼會已經有三十一年的歷史，每個人都是很好的夥伴，大家也會藉此互相交流生意上的資訊等，而且很常活動結束後都會有二次會，因此感情都非常要好。對於新的一年即將到來，張會長也希望聯誼會的所有人都能平安順利，生意也越來越好。

這次活動準備的料理也獲得眾人的好評，包括炸豬排、麻油麵線等，不少人都大讚味道非常道地，張會長也特別準備中藥雞湯，讓大家能暖暖身子，而現場熱鬧的氣氛也帶動其他桌的一般客人，大家不分你我一同聊天，讓整家店裡笑聲不斷。



# 台醫人保齡球親睦會 藉由運動放鬆身體

【東京／採訪報導】台醫人協會於十一月十日在北千住舉辦保齡球同好親睦會，邀請成員一同體驗保齡球的樂趣，會長大山青峰希望藉由舉辦運動相關的活動，讓大家能在假日好好放鬆自己，同時也促進身心健康。

會長大山青峰表示，我們認為大家每天忙於工作，需要一些健康點的休閒活動，所以除了音樂會外，我們也提倡球類運動，例如高爾夫球、網球和保齡球等，同時協會也希望能讓多一點年輕人參加與大家交流，因此像是保齡球等比較能吸引年輕人參與。

大山會長也表示，適當的放鬆對身體有益，像是日本就有下班後去居酒屋等的習慣，但就醫學的立場來說，吃吃喝喝是不好的，反而運動是最適合的，例如從事醫療工作常常神經緊繃，所以工作結束後去做任何運動都有助於神經放鬆，像是打

球、慢跑等，使用其他種神經，也讓剛剛集中的神經能好好休息。

這次的活動駐日副代表張仁久、僑務組組長王東生也出席共襄盛舉，張副代表還特別大展球技，打出不少精彩的表現，雖然最後僅獲得男性組第三名，但也讓全場驚艷不已，而男女組前三名的選手，台醫人協會都有特別準備獎品表揚，藉由這次活動為大家的假日帶來不少歡笑聲。



只要有選手擊出全倒後大家都會一同歡呼

# 橫濱台灣同鄉會定例會員總會 團結僑胞共創更美好未來

【橫濱／採訪報導】橫濱台灣同鄉會每年的定例會員總會於十一月二十三日在玫瑰飯店舉行，橫濱辦事處長張淑玲及橫濱華僑總會會長張儀皆受邀出席，同鄉會會員也攜家帶眷參與聚會，現場聚集約三百多人，此外還有歌唱、舞蹈及舞獅表演，現場氣氛熱烈。

橫濱辦事處處長張淑玲致詞時首先感謝僑界對她上任的這半年熱情迎接並給予支持，尤其是在業務上的協助更從未少過，她也說參與政界30多年來，第一次帶著家人出席活動，彼此就像是個大家庭，另外張淑玲提到她今天所穿的T恤(Taiwan Can Help)是辦事處印製的，意味隨著氣候變遷，台灣在眾多基礎之下，也可以跟日本合作並提供協助，同時分享根據近期的問卷調查，台灣有59%的民眾認為日本是值得信賴的重要友邦，今天台日關係友好都是靠僑界各位互相支持才有的結果。

橫濱台灣同鄉會會長余玉隆受訪時表示，大家一年才相聚一次非常不容易，舉辦定例會員總會聯絡各僑團彼此的感情，就像

是個親睦活動，此外還提到今年在任內期間捐給橫濱中華學院改建500萬及新建安親班和夏季旅行等，並指出永續發展是橫濱台灣同鄉會的責任，盼往後能持續團結僑胞創造更好的未來。

晚會期間還有安排歌唱、舞蹈及舞獅等餘興節目炒熱現場氣氛，歌者也邀請台下觀眾一同歡唱台灣知名歌曲夜來香、掌聲響起，最後在舞獅的熱烈表演為晚會劃下完美句點。



舞獅表演為晚會劃下完美句點

巧思創辦人黃淑君，烘焙出台灣的驕傲(黃淑君提供)



# 科技員的甜點夢 讓台灣站上國際舞台

【東京／採訪報導】作為總統專機、高鐵商務艙的點心，連續4年獲得世界品質評鑑大賞金獎、德國紅點設計獎的台灣燕麥酥片品牌「巧思」(Choice)10月受邀至法國巴黎羅浮宮參與時尚與設計藝術饗宴，日前出席貿協在日舉辦的商談會，想藉此找尋一同合作的進口商，表示希望晶圓餅乾能給大家帶來幸福的感覺。

科技員跨行烘焙業 創業過程從無到有  
原是半導體科技員的黃淑君，因工作過度病倒後，為了身體考量辭去工作，並重拾烘焙的興趣，遠赴巴黎及東京藍帶廚藝學院學習法式料理、甜點等技術，不畏挑戰、追逐夢想。

當談到創業的過程，黃淑君笑著說，雖然在這之中遇到很多挫折，但自己是一個樂觀的人，秉持著「愛與夢想，健康分享」的初衷，精益求精，與各界人士交流、虛心討教，抱持著感恩的心，一次又一次的突破逆境，最後終於在2015年成立思品有限

公司及品牌Choice巧思。  
國際發展開拓商機 為品牌加值  
在這個時時刻刻都在變化的甜點市場之下，黃淑君根據她對全球市場的觀察做了市調，鎖定未來有前景的甜點-穀麥，開始作產品計畫與研發，後來她發現自己與別人不一樣的地方是「國際化」，運用本身是科技員既有的能力，了解產業趨勢、技術發展、市場走向等，與國際連結。

黃淑君的創業首作「Choice巧思鹽之花堅果燕麥酥片」2016年即榮獲「食品界奧林匹克」之稱的世界食品品質評鑑大賞金獎，隨後更連續4年奪得世界金獎、德國紅點設計獎及國際企業傑出女性大獎等無數獎項，在眾多競爭者裡脫穎而出。

黃淑君提到「思維有公益、發揮影響力」，近年他們也不斷跟國際大廠合作，像是與全球知名化妝品品牌雅詩蘭黛Estée Lauder粉紅絲帶乳癌防治宣導活動聯名推出公益款商品、參與贊助世界衛生組織第四屆婦女庇護安置大會，明年也將與兩全球知名品牌聯名，更受邀與吳寶春合作。

裂紋，形狀看似簡單卻意味著巧思層層嚴謹，整合優質食材，也猶如晶圓中的晶粒，並結合故宮文物的創新設計，建立起精緻且獨特的品牌特性，讓台灣接軌國際。

立足台灣 向日本市場散播影響力  
透過國際得獎平台，「巧思」逐漸在世界各地打響知名度，黃淑君為自己訂下一個新的目標，那就是明年一定要進軍日本市場，因為日本的甜點市場非常競爭，對她來說不管是文化還是語言都是一項很大的挑戰，因此為了克服這些困難，日前黃淑君也到日本參與貿協所舉辦的商談會，希望在日本能多曝光，尋求進口商及代理商，藉由來日本的機會了解市場、分析產品，並認識更多人，散播影響力。

黃淑君在受訪時提到，雖然現在的通路難展，但仍會挑選有策略性的夥伴，在合作通路上分為實體通路與電子商務兩種，包括巧思官網、高鐵、吳寶春麵包店、city super及台大醫院等合作販售，現在更為了便利性，新增與全家行動購合作，觀光客戶在全家便利超商向店員提出購買意願，隔天就能取貨的服務，順利開啟了與國際鏈結的全球銷售網。

堅持與創意 烘焙出台灣的驕傲  
自從創業以來，遇到的困難和挫折並不少，但卻也因此讓黃淑君更確立自己的目標和努力的方向，在品質方面嚴選食材，即便高成本、低利潤也絕不妥協，作為smart snacking的代表，她堅定的說「要以堅持與創意，領導健康飲食的新潮流，成為國際化的點心代表。」

黃淑君表示，飲食對人的影響深遠，為了做出健康又均衡的甜點，食材都是與台大醫院的人員一起討論，也使用台灣小農產品，不僅可以幫助農民，天然無添加物的訴求，更受到總統及許多企業的青睞，欽點成為總統專機的點心、贈送友邦國的伴手禮，讓全世界看見台灣。

一塊晶圓餅乾涵蓋了世界各地甜點大師的精華味覺，黃淑君秉持初衷「愛與夢想，健康分享」，她說「巧思不以獲利為目的，這裡是實現夢想的基地」，並以不屈不撓的精神，成功在全球建立起巧思的品牌，烘焙出台灣的驕傲。

# 八大系統影響台灣選舉 陳奕齊：台灣人民要用選票 脫離「定期亡國感」



民進黨主席陳奕齊(前右三)與京都相思會成員合影

【京都／採訪報導】京都相思會於十一月十七日邀請台灣民進黨主席陳奕齊在威斯汀京都飯店舉行演講會。陳奕齊在演說中指出台灣已陷入「定期改選」、「定期亡國感」的危機，理由是對岸透過媒體和網路傳播假新聞，以及對台滲透八大系統，也就是鄰里、社區、社團、學校、宮廟、台商、宗親會同鄉會、黑道等管道，試圖操控和影響台灣選舉。他期待2020年11月的總統大選，台灣人民能做出歷史性的正確選擇，使台灣脫離「定期改選」、「定期亡國感」的危機。

陳奕齊表示，台灣的自由民主體制，採取四年一次的改選制度，「定期改選」代表的是「政治人物的定期檢驗」，用以汰換不適任的政治人物，也是維護民主政治的最重要方法之一。但前提是該國家的民主制度要相對健全，公民素質要相對健康。

陳奕齊指出，種種跡象顯示，台灣選舉已陷入「定期改選」、「定期亡國感」的困境，由於台灣的兩黨政治非藍即綠，因此人民被迫只能在藍和綠中選一邊，不少選民是為了討厭某一黨，而不得不把票投在另外一黨。所以我們經常會聽到選民無奈形容，選舉是在兩個「爛蘋果」中選一個比較不爛的，但是他認為這種想法是不正確的，明年的總統大選並非兩個「爛蘋果」之爭，而是「爛蘋果」和「毒蘋果」之爭，一旦選擇「毒蘋果」很可能帶來嚴重的後果，理由是對岸正透過各種管道操控台灣選舉，藉由空

戰跟陸戰部隊，影響選情，最終目標是促使台灣走向一國兩制。  
陳奕齊指出，目前中共對台的「空戰部隊」，由三項構成：一，透過社交平台(SNS)控制輿論風向，散播網路假新聞；二，透過被稱之為「統煤」的平面跟電子主流媒體影響選情；第三，路透社曾揭露台灣島內有許多電視跟電台幾乎都接受過對岸資助，替對岸做黨配新聞。

至於「陸戰部隊」，由於過去親中的馬政府八年「大開後門」，許多打著兩岸交流名義，實則進行對台滲透的「中國白蟻」進入台灣基層，透過對台滲透八大系統：鄰里、社區、社團、學校、宮廟、台商、宗親會同鄉會、黑道等，組成企圖影響台灣選舉的陸戰部隊。在這樣的背景下，就算2020民進黨順利執政，倘若中共代理人佔據國會，中國滲透勢力未能清除，2024年我們勢必又要再次面臨「亡國感」危機，這就是所謂的「定期改選、定期亡國感」。

陳奕齊表示，要終結「定期改選、定期亡國感」的危機，最好的方式是讓親中政黨成為立法院的弱勢政黨，因此台灣有必要盡快出現第二個堅定抗中的本土政黨，扮演捍衛台灣主權，對抗親中勢力，有效監督民進黨執政等角色。台灣民進黨的目標就是要成為台灣選民除了民進黨以外，最優質的本土政黨選項。他期待明年的總統大選，台灣人民能做出歷史性的正確選擇，解除台灣「定期改選」、「定期亡國感」的危機。

## DAISANGEN 未来を共に創造する

# 買賣 · 出租 · 管理

大三元在日本國內與海外都有強大的投資管道。配合顧客的要求，提供打造全程的服務。

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 | 03-5917-0727 | 03-5917-0047 | 08030136399 | info@dsgl40613.com | www.dsgl40613.com

<b>【賣買】マンション・事務所</b> <b>足立区入谷七丁目一棟ビル</b> 目黒駅東口徒歩15分 有明駅西口徒歩20分 入谷駅徒歩2分 <販売価格> 13,480 万円 ・九人乗りエレベーター・電動シャッター付き倉庫 ・約116㎡(35.09坪)の屋上あり ・住所：東京都足立区入谷七丁目 ・建物構造：鉄筋コンクリート造5階建 ・築年月：2005年2月 ・専有面積：151.63㎡(45.86坪) ・現況：1階：駐車場/倉庫(7.8m×7.9m) 普通車5台駐車可能 2階：居宅3LDK(現況空室) 3階：事務所(約36.64㎡) 4階、5階：居宅4LDK(現況居住中)	<b>【賣買】マンション</b> <b>フェニックス西川口</b> JR京浜東北線 西川口駅 徒歩3分 <販売価格> 7,900 万円 表面利回り7.05% ・フルリフォーム済み ・駅近・便利 ・住所：埼玉県川口市西川口1丁目 ・建物構造：鉄筋コンクリート造5階建 ・築年月：1994年5月 ・専有面積：57.05㎡/17.25坪 ・間取り：1K ・備考：A)2017年3F・5Fリフォーム済み B)2017年6月・新・F1設置 C)2018年6月・4F・5F・室内再リフォーム。家具、家電の設置 D)【家電】冷蔵庫・電子レンジ・壁掛けタイプのTV E)2019年6月：給水ポンプ新品交換済み ・取引態様：売主 ・現況：賃貸中(満室)	<b>【賣買】マンション</b> <b>ミテツア北品川3階</b> JR山手線 北品川駅 徒歩2分 品川駅 徒歩11分 <販売価格> 2,650 万円 ・住所：東京都品川区北品川1丁目 ・建物構造：鉄筋コンクリート造9階建 ・築年月：2016年 ・専有面積：19.64㎡(1K)、バルコニー：2.37㎡ ・現況：賃貸中(サブリース)	<b>【賣買】マンション</b> <b>ハイライフ高田馬場403</b> JR山手線 高田馬場駅 徒歩4分 <販売価格> 2,880 万円 ・駅近く、通勤・通学に便利な立地です ・住所：東京都豊島区高田3丁目 ・建物構造：鉄筋コンクリート造5階建 ・築年月：1974年6月 ・専有面積：43.60㎡(20K) ・管理費：月額9,110円 ・修繕積立金：月額11,260円 ・現況：賃貸中 オナーチェンジ	<b>【賣買】マンション</b> <b>アトラス大塚南フラットコート7階</b> JR山手線 大塚駅 徒歩5分 新大塚駅 徒歩6分 向原駅 徒歩1分 <販売価格> 7,080 万円 ・全室南向き、角部屋 ・窓が多く、陽当り風通し良好 ・住所：東京都新大塚3丁目 ・建物構造：鉄筋コンクリート造10階建て ・築年月：2005年11月 ・専有面積：73.3㎡(3LDK) バルコニー：8.37㎡ ・現況：オーナー居住中	<b>【賣買】マンション</b> <b>歌舞伎町ダイヤモンドパレス504号室</b> JR山手線 新大塚駅 徒歩10分 東大塚駅 徒歩3分 <販売価格> >1,300 万円 ・複数階層利用可能 ・通勤通学便利 ・エレベーター2基 ・住所：東京都新宿区歌舞伎町2丁目 ・建物構造：SRC地上9階建て ・築年月：1981年7月 ・専有面積：15.18㎡(1R) ・管理費：月額7,900円 ・修繕積立金：月額3,450円 ・現況：賃貸中(月額68,000円(管理費込み))
<b>【賣買】店舗</b> <b>埼玉県所沢市新セブンイレブン</b> 西武所沢駅 徒歩13分 <販売価格> 29,000 万円 表面利回り5.5% ・【7-11】賃貸中!(合約期間：2019年6月~2049年5月) ・住所：埼玉県所沢市大字久米字吉原 ・建物構造：鉄骨造平屋建 ・築年月：2019年7月 ・専有面積：1124.27㎡(360坪) ・現況：7-11 賃貸中	<b>【賣買】店舗</b> <b>ブライズ東雪谷アジュールコート1階</b> JR京浜東北線 石川台駅 徒歩2分 <販売価格> 17,000 万円 表面利回り4.89% ・【保育園】賃貸中! (合約期間：2019年5月~2029年4月) ・住所：東京都大田区雪谷2丁目 ・建物構造：鉄骨造地上6階建て ・築年月：2008年3月 ・専有面積：143.09㎡(43.28坪) ・主要採光面：南向き ・管理費：月額17,200円 ・修繕積立金：月額29,750円 ・現況：保育園賃貸中	<b>【賣買】事務所</b> <b>カーニーブレイズ新御徒町8階</b> JR京浜東北線 新御徒町駅 徒歩7分 御徒町駅 徒歩8分 <販売価格> 12,800 万円 表面利回り7.23% ・2019年4月フルリフォーム済み ・住所：東京都台東区東上野1丁目 ・建物構造：SRC 地上8階地下1階建て ・面積：179.97㎡ ・賃料：月額691,200円 ・管理費：79,045円 ・修繕積立金：52,625円 ・現況：賃貸中	<b>【賣買】事務所</b> <b>パークノヴァ横浜参番館1階部分</b> JR東横線 横浜駅 徒歩8分 新高島駅 徒歩3分 <販売価格> 1,090 万円 表面利回り7.49% ・区分マンション・事務所利用 ・管理体制良好 ・外観タイル貼り ・住所：神奈川県横浜西区平沼1丁目 ・建物構造：SRC 地上12階建て ・築年月：1990年2月 ・専有面積：17.79㎡(1R) ・現況：月額63,000円(税別)募集中	<b>【賣買】アパート</b> <b>練馬区田柄4丁目店舗付住宅</b> JR東武有楽町線 下赤塚駅 徒歩8分 下赤塚駅 徒歩9分 <販売価格> 10,800 万円 ・大型4LDK/南道路線当り良好 ・リビングに床暖房/対面キッチン ・住所：東京都練馬区田柄4丁目 ・建物構造：鉄筋コンクリート造3階建 ・築年月：2002年7月 ・専有面積：132.25㎡(40坪) ・現況：1階：店舗賃貸中(賃貸借契約書引継ぎ) 2階、3階：オーナー居住中(契約後、退去)	<b>【賣買】高級タワーマンション</b> <b>ファーストリアルタワー新宿20階</b> 丸の内線 西武新宿駅 徒歩1分 新宿駅 徒歩8分 西新宿駅 徒歩10分 <販売価格> 3,580 万円 ・住所：東京都新宿区西新宿7丁目 ・建物構造：RC地下2階付32階建 ・築年月：2006年 ・専有面積：22.91㎡(1K) ・賃料：126,000円(月額) ・管理費：10,000円(月額) ・礼金1ヶ月 ・保証金1ヶ月 ・更新料1ヶ月 ・現況：賃貸中(一月中以降入居可)
<b>【賣買】一棟マンション</b> <b>リヴシティ成増</b> 有明線 有明駅 徒歩3分 <販売価格> 172,860 万円 ・現況と異なる場合は現況を優先とします。 ・住所：東京都練馬区旭町3丁目 ・建物構造：RC造6階建 ・専有面積：1,640.13㎡【全部60戸】 ・満室想定年間賃料：6,919.8万円 ・現況：2019/11/29完成予定	<b>【賃貸】事務所</b> <b>NCビル3階</b> 東武東上線 池袋駅 徒歩9分 大塚駅 徒歩12分 ・業種相談 ・住所：東京都目黒区碑文谷3-19-8 ・賃料：月額1,153,620円 ・費用：(共益費、管理費込) ・建物構造：鉄骨造 地上7階建て ・所在階：3階 ・賃料面積：約263㎡(79.56坪) ・礼金：1ヶ月 ・保証金：2ヶ月 ・更新料：1ヶ月 ・償却：1ヶ月 ・現況：賃貸中	<b>【賃貸】事務所・店舗</b> <b>ロイヤルガーデン8ビル3階</b> 有明線 錦糸町駅 徒歩6分 錦糸町駅 徒歩6分 ・業種相談可能/軽飲食可(スナック、バー、イタリアンなど) ・2路線利用可 ・住所：東京都墨田区江東橋4丁目 ・賃料：月額756,730円(共益費込) ・建物構造：鉄骨コンクリート地下3階 地上7階建て ・築年月：1998年12月 ・賃料面積：175.99㎡ ・礼金：なし ・保証金：4ヶ月 ・更新料：1ヶ月 ・償却：1ヶ月 ・現況：空室	<b>【賃貸】事務所</b> <b>NCビル2階</b> 東武東上線 池袋駅 徒歩9分 大塚駅 徒歩12分 ・業種相談 ・住所：東京都目黒区碑文谷3丁目 ・賃料：245,955円(共益費込) ・建物構造：鉄骨造地上7階建て ・所在階：2階 ・賃料面積：85.58㎡(25.99坪) ・礼金：1ヶ月 ・更新料：1ヶ月 ・保証金：2ヶ月 ・償却：1ヶ月 ・現況：空室	<b>【賃貸】事務所</b> <b>第三丸上ビル4階</b> JR山手線 高田馬場駅 徒歩3分 下落合駅 徒歩10分 ・東向き・ワンフロア・諸条件相談 ・専用トイレ・商店街徒歩1分 ・住所：東京都新宿区1丁目 ・賃料：72,400円(税込) ・共益管理費：月額3,000円(税別) ・建物構造：鉄骨造4階建て ・築年月：1974年1月 ・専有面積：約23㎡【ワンフロア】 ・礼金1ヶ月 ・保証金1ヶ月 ・更新料1ヶ月 ・敷金2ヶ月 ・更新料1ヶ月 ・現況：空室	<b>【賃貸】高級タワーマンション</b> <b>ファーストリアルタワー新宿20階</b> 丸の内線 西武新宿駅 徒歩1分 新宿駅 徒歩8分 西新宿駅 徒歩10分 ・住所：東京都新宿区西新宿7丁目 ・建物構造：RC地下2階付32階建 ・築年月：2006年 ・専有面積：22.91㎡(1K) ・賃料：126,000円(月額) ・管理費：10,000円(月額) ・礼金1ヶ月 ・保証金1ヶ月 ・更新料1ヶ月 ・現況：賃貸中(一月中以降入居可)



# 文化講座・展覧活動資訊 Information 全日本台湾祭り & 華僑イベント スケジュール

**(東京)ヘルスケア・コスメビューティー商談会**  
 場所: THE STRINGS 表参道 3F パークアヴェニュー  
 時間: 12/03  
 主催: 台湾経済部国際貿易局、台湾貿易センター

**(東京) Fine tech 2019 (台湾出展)**  
 場所: 幕張メッセ  
 時間: 12/04~12/6  
 主催: リードエグジビジョンジャパン(株)

**(東京) 第40回国際人権連盟年次総会成果報告会**  
 場所: 台湾文化センター  
 時間: 12/05  
 主催: 国際人権連盟

**(大阪) 台湾ヘルスケア・ビューティーコスメ商談会**  
 場所: スイスホテル南海大阪  
 時間: 12/05  
 主催: 経済部国際貿易局、台湾貿易センター

**(東京) 台湾科学技術協会  
「2019年度冬季講演会・会員大会」**  
 場所: (有)フロアサポート 貸教室・貸会議室  
 時間: 12/07  
 主催: 台湾科学技術協会

**(東京) 日本の紅葉を「見て」「感じて」「味わう」**  
 場所: コレド室町テラス2階 誠品生活日本橋 COOKING STUDIO  
 時間: 12/08  
 主催: hibiki Culture Lab

**(東京) 2019国際ロボット展 (台湾出展)**  
 場所: 東京ビッグサイト  
 時間: 12/18~12/21  
 主催: 一般社団法人日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

**(東京) 【写真展】めくるめく台湾展**  
 場所: 台湾文化センター  
 時間: 2019/12/19~2020/2/18  
 主催: 台湾文化センター

**(東京) 台湾散歩のススメ**  
 場所: コレド室町テラス2階 誠品生活日本橋 FORUM  
 時間: 12/21  
 主催: hibiki Culture Lab

**(東京) 第31回 国際宝飾展 (台湾出展)**  
 場所: 東京ビッグサイト  
 時間: 2020/01/20~01/23  
 主催: リードエグジビジョンジャパン株式会社、一般社団法人日本ジュエリー協会



**(東京) nano tech 2020 (台湾出展)**  
 場所: 東京ビッグサイト  
 時間: 2020/01/29~01/31  
 主催: nano tech 実行委員会、JTB コミュニケーションデザイン

**(東京) ライフスタイル Week【春】 (台湾出展)**  
 場所: 幕張メッセ  
 時間: 2020/01/20~01/22  
 主催: リードエグジビジョン ジャパン株式会社

**(東京) 2019年度冬季国建演講會**  
 場所: 池袋・東明飯店  
 時間: 12/1  
 主催: 国建會

**(横濱) 日台経済文化交流協會**  
 場所: ホテルモントレ横濱  
 時間: 12/2  
 主催: 日台経済文化交流協會

**(東京) 2019 国際佛光會東京協會  
會員大會暨懇親會**  
 場所: 東京佛光山 如來殿  
 時間: 12/8  
 主催: 國際佛光會東京協會

**(東京) 日本中華聯合總會  
第一次常務代表委員暨監察委員聯席會議**  
 場所: アルカディア市ヶ谷私学会館  
 時間: 12/14  
 主催: 日本中華聯合總會

**(横濱) 横濱中華學院忘年會**  
 場所: 横浜大飯店  
 時間: 12/16  
 主催: 横濱中華學院

**(千葉) 消防植福陰陽雨利三天大法會**  
 場所: 千葉純陽宮  
 時間: 2020/1/1~1/3  
 主催: 純陽宮

**(東京) 燃燈禪師東京一日禪修佛法開示**  
 場所: 豊島區民中心  
 時間: 2020/01/04

**(東京) 佛光山法水寺牡丹文化祭**  
 場所: 佛光山法水寺  
 時間: 2020/05/16~06/13  
 主催: 佛光山法水寺



著者=松田義人  
 発行=国書印刷  
 体裁=176頁  
 定価=1800円+税

## パワースポット・オブ・台湾

台湾観光のバイブルガイドとして、目下、大人気の著者が「台湾の聖殿と神々を巡る旅」を副題にした、台湾の216箇所のパワースポットを巡る内容が本書だ。世界的に見ても多彩な種がある台湾の宗教。実に多彩な聖殿及び神々がある。台湾を旅する人から「正直多すぎて混乱する」「台湾の宗教の情報が少ない」などの意見に対し、少しでも、その成り立ちや意義を、読者ともども共有したいとの考えから制作に至った、としている。本書に網羅してある聖殿を巡った数は実に200を超える。台湾人の「自分と違う民族や慣習でも他社を尊重する」気質に従い、特定の宗教や思想に偏らない様に紹介されている。台湾では、道教廟が大小無数にある一方で、台湾第二の宗教・仏教の寺院は各所様式が異なる。キリスト教の教会が中華様式による建物があり、日本統治時代の神社を古跡としての保存しているところもある。本書ではこうした台湾の宗教にまつわる多彩な聖殿と神々によるパワースポットに

ターゲットを当てた所が特徴でもある。台湾の全地域を第六章に分け、それぞれの地域のアクセス方法や所在地はもちろん、巻末には効率よく巡ることができるようにインデックスマップも掲載されている。著者は、これまで数々の台湾巡りの旅をしているが、本書は「普通のガイドブックでは紹介しにくい台湾のパワースポットばかりを紹介する」をテーマとした。しかし、未だに直面する「どうしても理解しがたい台湾人特有の慣習や感覚」に対し「台湾のわからないところを探る」を裏テーマにした、という。出自や成り立ちを独自目録で紹介してある本書だが、著者が、執筆後も「台湾禁断症状」が止まらなく「頭の中はやっばり台湾」。「ますますわからないことが増えた」と、まるで恋愛のように「台湾にハマっていく旅行者は多いと思う」とも。本書を片手に台湾に行つて、神々がもたらす良い「気」を是非浴びて欲しい。

台湾新聞272号 読者プレゼント  
**応募券**

読者プレゼント企画 台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様に本書「パワースポット・オブ・台湾」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(12月中旬に発送予定)。締切り:12月15日(消印有効)  
 株式会社台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

## 嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊  
 ●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

精通國、臺、日語服務親切 ※銀行匯款口座  
 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店 (普)3678888 (名義)嘉南觀光(株)

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00  
 TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989  
 地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401



# 東京こころ日本語学校

## Tokyo Kokoro Japanese Language School

台灣人經營・絕對放心・生活/宿舍/升學輔導 0 障礙

~4月・1年コース/10月・1.5年コース熱烈招生中~

☆台灣學生特別優惠價☆ 歡迎詢問陳小姐  
 (Email:tzingchen110@gmail.com / LineID:tzingchen110)

〒174-0071 東京都板橋区常盤台3-25-2(上板橋駅徒歩10分)



事務所・店舗	相模原ビル	事務所・店舗	平塚明石ビル	事務所	杉並区高井戸	一棟売マンション	世田谷区下北沢	一棟売アパート	世田谷区上馬
価格: 93,520万円	価格: 45,000万円	価格: 53,000万円	価格: 24,400万円	価格: 21,120万円					
所在地: 神奈川県相模原市中央区鹿沼台 交通: JR横濱線「淵野辺」駅 徒歩4分 土地: 2,228.83㎡ (674.22坪) 所有権 築年数: 平成8年11月 利回り: 6.35%	所在地: 神奈川県平塚市明石町 交通: JR東海道線「平塚」駅 徒歩4分 土地: 334.01㎡ (101.03坪) 所有権 築年数: 平成5年4月 利回り: 7.73%	所在地: 東京都杉並区高井戸 交通: 京王電鉄井の頭線「高井戸」駅 徒歩12分 土地面積: 506.70㎡(153.27坪) 所有権 築年月: 平成3年5月 表面利回: 6.27% (満室)	所在地: 東京都世田谷区下北沢 交通: 小田急小田原線「下北沢」駅 徒歩8分 土地面積: 105.22㎡ 築年月: 平成17年11月 構造: 鉄筋コンクリート造4階建(10K×11F) 表面利回: 4.50% (現況満室)	所在地: 東京都世田谷区上馬 交通: 東急田園都市線「駒沢大学」駅 徒歩9分 価格: 21,120万円 土地面積: 246.50㎡ (74.56坪) 所有権 築年月: 平成20年3月 構造: 軽量鉄骨造3階建 表面利回: 6.0% (現況賃貸中)					

# 日本國際客家文化協會十五周年 期許持續傳承交流

▼懇親大會紀念合影



【東京／採訪報導】日本國際客家文化協會於十一月十七日在東京舉辦十五周年紀念懇親大會，這十五年間日本國際客家文化協會致力於客家文化研究、舉辦學術研討會、促進客家文化交流，都有豐收的成果，會長岡村央棟也期許能將客家文化繼續發揚光大。

這次的活動包括駐日副代表張仁久、台灣文化中心主任王淑芳、日本台灣商會聯合總會會長河道台、前眾議員中津川博輝，以及台灣客家聯盟和關東地區僑領出席，並安排不少表演串場，場面非常熱鬧，最後的抽獎活動更是帶來一波高潮。

副代表張仁久肯定日本國際客家文化協會的努力，並認同岡村會長致力發揚客家文化的精神，同時他提到，像是新加坡國父光

耀、現任總統蔡英文都是客家人，政府也有推出浪漫台三線，結合產業、觀光、文化等，打造客家的文藝復興，預計明年計畫就會全數完成，屆時有機會走訪台灣，不妨去體驗客家文化的魅力。

會長岡村央棟於受訪時表示，日本客家文化協會以傳承客家文化為使命，雖然已經擁有十五周年的歷史，但我們才像是一個青少年，還要繼續努力推動持續發展，而客家委員會在推動客家文化上不遺餘力，但礙於一個客委會要管全世界非常不容易，因此未來日本方面有構想提案舉辦活動邀請客委會參加，協助客家文化宣傳。

在這十五年間，日本國際客家文化協會

在客家文化研究、舉辦學術研討會、促進客家文化交流這三項都有豐富成果，像是發行的雜誌《客家與多元文化》已經出版十期，發表了191篇論文，也與香港客家文化研究者、廣東嘉應大學的學者一同在日本明治大學召開研討會，並將發表論文集結起來在第九期的《客家與多元文化》中。

另外除了積極參與客家委員會或世界客屬總會舉辦的交流活動外，今年二月也組團赴福建漳州、廈門考察交流客家文化，同時也參觀了客家的代表建築圍樓(土樓)，讓眾人更加了解客家文化，岡村會長提到，未來也會持續配合客委會或世界客屬總會將客家文化發揚光大。



## 跨越時代照片論壇 共同找回台灣歷史記憶

【東京／採訪報導】近年來，台灣和日本之間的攝影師往來密切，雙方之間攝影史的人物或資料各方面交織在一起，因此由日本攝影師港千尋作為發起人，展開台灣舊照片的研究，為此NPO法人Art Bridge Institute於十一月十四日在台灣文化中心舉辦跨越時代國際照片研究論壇，讓更多人能夠了解過去的歷史記憶。

跨越時代國際照片研究論壇邀請寫真史研究者張世倫、國立成功大學多元文化研究中心研究員陳佳琦、日本攝影師港千尋及國立民族學博物館教授野林厚志到場發表。

陳佳琦發表的主題為「台灣與遠藤家族共有影像及消失的寫真館記憶」，故事背景為1895年日本殖民台灣的歷史，描述遠藤家族在仙台創業，後移居台灣1896年分別在台南及台北設立寫真館的史蹟。陳佳琦表示，由於當時還沒有動態影像技術，寫真帖的照片多為靜態的軍事功績，即便當時台日立場不同，但事件被照片保存下來，對台灣來說是非常重要的史料記憶。

張世倫則發表「台灣風景的寫真構造」，風景是如何與觀光一同呈現，並不斷定型規格化，藉由攝影和印刷的技術記錄台灣的秩序感，留下漢人當時的舊時代影像，他以《カメラで見た台湾》來強調視野的

主觀性，街頭攝影的觀光寫真，建立起一個熱帶南國的想像。

日本方面的講者則以原住民文物及旅行資料作為重要資訊的判斷，舊照片的凸顯、台灣的歷史研究都是發掘新可能的好機會。

跨越時代國際照片研究論壇計畫成員呂孟均受訪時表示，這些過程累積的結果很長，也因港千尋長期關注民間攝影，發覺小人物可以彌補歷史沒有提到的事件，在政府的交替之下，會有很多東西遺失，因此想填補台灣攝影史的空缺 可得到的資料少之又少，只能將既有線索一點一滴拼湊，希望透過這場論壇，除了讓更多人瞭解台灣過去歷史，對攝影史有興趣的人能一起找回更多台灣的史料記憶。



以當時技術所拍出的靜態寫真照

▼發表會合影



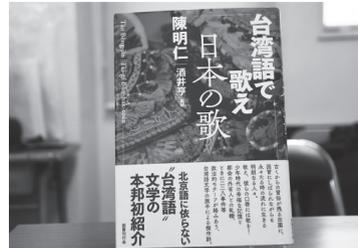
## 布袋戲表演暨新書發表 帶領台語文學前進日本場

【東京／採訪報導】為了讓更多日本民眾感受台語文化之美，成功大學台灣語文測驗中心主任蔣為文及台文筆會理事長陳明仁十一月三日帶領團隊前往東京文學院日本語中心舉辦「台灣文學新書發表會」，且台南布袋戲結合陣頭文化的表演更受到日本觀眾的青睐。

近年台灣文學作品翻譯成日文後相當受到日本讀者的歡迎，此次發表的兩本新書分別是《呪はれた文学 戦後初期(1945~1949)台湾文学論集》及《台灣語で歌え日本の歌》，戰後初期一書講述的是日本文化

與中國文化重疊的時期，發表會上更說明了「要斬斷被詛咒的命運」，此書將有助於日本讀者了解台灣戰後初期文學發展的現象。而在台灣唱的歌一書則是作家陳明仁台語詩歌的譯本，也是台灣首次將台語文學作品翻譯成日文，可說是台灣文學界的創舉。

陳明仁在發表會時表示，很少有人會用台語字寫成小說，會用台語字完成這本書是因台灣的創作自由，寫作可以使用漢字或羅馬字，尤其他希望台灣能夠保留古早語言、風俗習慣與生活方式等，同時這本



《台灣語で歌え日本の歌》一書收錄台語詩歌更是要讓不懂字的人可以理解，並提升文學觀念，期望能將台語推向世界舞台。

發表會的尾聲由王藝明掌中劇團的布袋戲表演作為壓軸，除了經典的布袋戲，也帶來台灣獨特文化電音三太子、宋江陣、八家將與千人等多項表演，團長王藝明還在現場模仿布袋戲重要角色，台下的日本觀眾看得不亦樂乎，紛紛拍手叫好。

王藝明受訪時表示，從事布袋戲這項行業已有近50年，雖然每年都會出國表演，但這次是第一次來到日本，談到為什麼會選擇宋江陣、八家將呈現給日本民眾看，他說布袋戲都有背後的故事，想要解釋出來是有一定難度的，因此為了能讓日本人輕易瞭解又能加深印象，才選擇以簡單動作作為主的主题，進而發揚台灣的故事，向日本宣傳台灣獨特文化。

發表會結束後選舉辦懇親會，讓想要了解更多台與文化的讀者參加，進一步與作家和布袋戲表演團隊交流。

▼沈伯洋談論資訊戰



## 資訊戰的虛與實 專家警告台灣已進入戰爭狀態

【東京／採訪報導】台灣受假消息攻擊程度位居全球第一，且中國對台灣的資訊戰打擊更未曾減弱，為此日本台灣青年團在十一月九日邀請到資訊戰專家沈伯洋到日演講，期望海外青年能凝聚起來對抗假消息，沈伯洋也警告台灣已進入資訊戰爭狀態，呼籲大家要有警覺。

假消息對台灣的民主自由傷害甚深，尤其2020台灣總統大選將至，中國對台的資訊戰恐怕再次提升，國安局也指出中國散布假消息的模式有四種，分別是扭曲國內熱議事件、加工聲動新聞標題、捏造不實訊息及用假帳號入侵台灣社群媒體發文改變國人認知等手法。

資訊戰專家沈伯洋一開始演講時表示，談論資訊戰就不得不提到始祖俄羅斯，他們早已有系統性的影響他國選舉，目前仍持續進攻烏克蘭，而中國現在正在效仿，更提到資訊戰的宗旨就是「不費一兵一卒占領他國」，更警告國人，台灣已進入戰爭，大家務必提高警覺。

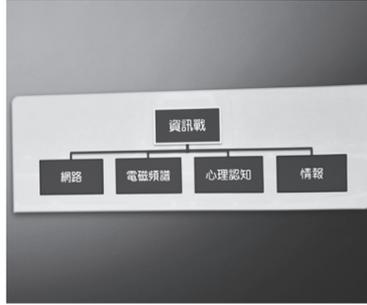
沈伯洋舉例，早在五年前，俄羅斯政府開始著手如何影響美國總統大選，首先研究哪些議題能夠引起對立，後來確定以黑人議題為主軸，利用網站蒐集黑人個資、喜好，最快一周就能蒐集一個人的所有情報，隨後成立吸引黑人社群的臉書專頁與IG，瘋狂轉傳白人警察霸凌黑人影片，用這些假帳號炒熱度，網軍利用這些大數據找到這群人的最大公約數並博得信任，之後結合地方勢力，讓這些網軍粉絲團擁有多達百萬的粉絲，若用於中國對台灣例子，他們就是利用宮廟進行滲透，對象包括退休軍教人員、里長、農漁會等。

利用黑人的信任，網軍們開始不斷用假帳

號攻擊主流媒體、製作假新聞、散播各種陰謀論，如「希拉蕊其實是複製人」「希拉蕊是女生主義者卻說女生是垃圾」，看似荒謬的言論，卻成功引起百萬次的轉發達到網軍目的，雖然沒有刻意稱讚川普，但只要貶低希拉蕊，就能讓大多支持民主黨的黨人不要出來投票，如此讓川普當選就不是一件難事。

沈伯洋受訪時談到最有效的因應方式當然還是支持代理人法，抑或跟德國、捷克等這些國家交流、交換情報，這樣才能最快將假新聞的上游揪出來。他也希望國人能從基層培養媒體識讀，但媒體識讀無法抵擋所有的假消息，絕大部份都還是靠網路在傳遞資訊，呼籲大家不要安裝來自中國的APP及VPN，這都很有可能外洩個人情報。

在這個網路的時代裡，大家雖處在同一空間，但網路的世界卻不一樣，因此面對面的溝通很重要，透過近三小時的論壇，讓大家能夠了解假消息的可怕性，也凝聚海外青年共同對抗這場資訊戰。



四種假消息散佈模式

▼禮儀講座合影



## 在日台灣婦女會禮儀講座 分享日本生活禮儀

【東京／採訪報導】近年來外國人在日本定居的總人數逐年攀升，但身在日本，禮儀會隨著不同場合而有不一樣的表達方式，為此在日台灣婦女會於十一月十六日舉辦禮儀講座，邀請禮儀講師王靜慧為大家分享在日本生活須注意哪些禮節。

講座的一開始王靜慧就先提出要「入境隨俗」，凡舉例日本禮儀就有13項在不同場合時須注意的禮節，其中包含打招呼、吃飯、商業、會話及饋贈等多種，王靜慧也在現場親自示範給聽眾看，讓聽眾可以邊看邊學。

在日台灣婦女會會長武田佳蓉子表示，這

次禮儀講座是第一次舉辦，希望居住在日本的外國人能遵循這些基本的禮貌，並能有更深層的理解，就像講師一開始提到的「入境隨俗」。

聽眾田代美鳳也說，自己在日本生活了30多年，規矩和禮儀真的很多，在台灣可以做的，到了日本有可能就是不禮貌的行為，而有時候會不小心忘記一些小細節，剛好有舉辦這場講座，讓他可以了解下次在跟日本人交流時，應該注意哪些事情，才不會造成對方的誤解。

日本的禮儀分做許多流派，而王靜慧主要學習「小笠原流法」，而日本禮儀源自於飛鳥時代，到了室町時代才正式被規範，最初是被官僚所使用，最後直到江戶時代才開始規範人民。

此講座的内容包含打招呼的正確姿勢、日常會話、電話對應的基本禮儀與鞠躬時應依照情況呈15度、30度甚至是75度的姿勢等，講師也教導聽眾哪些行為在日本人眼中是不禮貌的，呼籲大家以後和日本人交流時應多注意，避免造成不必要的誤會。



# 台日協贊會組團參加國慶 感受台灣之美 大讚社會安定

台日協贊會致力行善，圖為參訪南投慈善機構



加國慶大典，慶祝中華民國生日，同時也參加會後的台東之旅，雖然原訂要參訪蘭嶼，但因為風速過大無法前往，改為走訪池上、知本。

會長蔡美銀表示，雖然這次僅十三位成員參加一年一度的國慶日，但不論在國慶大會現場或是桃園高鐵廣場的晚會，看到蔡總統、鄭市長的致詞，感受萬人齊聚一堂歡呼喜悅，即使從不相識，但當下卻是滿滿親近的感覺，不僅讓人覺得溫馨感動，且台灣就是那麼先進的國家，值得在國外誇耀台灣的好，未來在日本行善之餘，也會致力推廣台灣，讓世界上更多人能認識台灣，也很榮幸有機會參加這次雙十的活動。

蔡會長也說，這次台東之旅無法到蘭嶼參訪感到可惜外，在知本溫泉、池上都遇上好天氣，也感受到大自然的美，鄉間的純樸景色也讓人回味無窮，特別是百姓勤勞的精神，值得大家效仿，除了謝謝政府這次安排的參訪行程，也對台灣社會安定及美麗的風景感到驕傲。

美，蔡會長表示感謝不已，也對台灣社會安定及美麗的風景感到驕傲。

台日協贊會成立以來致力於慈善活動，聚集日本僑胞的愛心，返台數次幫助過無數的人和機構，但今年是第一次組團返台參

【台北／綜合報導】為了慶祝中華民國108年國慶，台日協贊會在會長蔡美銀的帶領下，專程組團返台參加國慶大典，及會後的台東之旅，對於政府安排各式各樣的活動，讓長期居住在海外僑胞能重新認識台灣的



台日協贊會參訪台東



會長蔡美銀(左二)率團參加國慶大會



訪團一行對台灣的美讚歎不已

# 日台商務促進會懇親會 盼持續為雙方友好努力

懇親會紀念大合照



【東京／採訪報導】日台商務促進會於十一月一日在新宿京王飯店舉行懇親會，會中也特別報告這次日台商務促進會組團，拜會總統蔡英文、台北市長柯文哲、僑務副委員長呂元榮，會長今角友美也希望今後能繼續為深化台日友好關係努力。

副代表張仁久、僑務組長王東生、副組長文君妃等關東地區僑領、日方友人將近兩百人出席。

副代表張仁久於致詞時肯定日台商務促進會為台日交流的貢獻，並提到台日交流興盛，不僅往來人數高達672萬人次，去台灣五個人中就有一個人來過日本，而在地震颱風等災害發生時，台日也會互相幫助關心，特別是上個月日本遭受十九號颱風侵襲後，總統蔡英文也在Twitter上推文關心，並獲得

安倍首相感謝的回應，突顯出日台的友好關係，他也希望大家能繼續為台日關係努力。會長今角友美表示，我們國家是我們的生命之源，回到台灣就好像回到娘家一樣，而大家對國家的心是永遠不會改變，希望日台商務促進會能持續發展下去，讓更多日本人和外國人能進一步認識台灣，也會努力作為國家最好的橋樑，促進台日之間的交流。

今角會長也提到，對日台商務促進會非常有信心，因為這次是第一次舉辦懇親會，原本只預定一百人參加，但現場來了快兩百人，座無虛席，也代表著大家認同日台商務促進會，認同我們的行動、交流，所以我們要更努力往上爬，不僅促進更多交流，也為台灣盡一點力。



現場將近兩百多人出席，同時也互相交流



今角會長介紹日台商務促進會幹部成員

燃燈禪師

日期 Date **1/4**  
Jan. 4<sup>th</sup> 2020

09:00am~4:30pm

**Sayalay Dipankara Theri**

**東京一日禪修暨佛法開示**  
Tokyo One Day Retreat & Dharma Talk

**大業處導師 燃燈禪師**  
Great Meditation Teacher Sayalay Dipankara Theri

燃燈禪師1964年出生在緬甸。禪師自幼禪修，後來在帕奧禪師的指導下，於短時間內修完所有禪修課程。並於1990年在帕奧禪師的座下出家，於緬甸帕奧禪林毛淡棉總部受訓成為業處導師。

燃燈禪師熟諳《清淨道論》裡的40種業處如入出息念、四界分別觀、慈心禪、佛隨念、不淨觀、死隨念、四禪八定、遍禪以及觀禪。1996年燃燈禪師受到聖法大長老邀請，到斯里蘭卡協助帕奧禪師指導禪修，自此展開了她於世界各地指導止觀禪修、弘揚佛陀教法的旅程。

禪師弘化各地25年已受邀至美國、德國、義大利、加拿大、日本、英國、臺灣、香港、韓國、中國、馬來西亞、印尼、新加坡、斯里蘭卡、澳大利亞、越南等地指導禪修及佛法開示，教學經驗豐富。

禪師於2000年在新加坡成立了Cakkavala禪修中心，2006年在緬甸眉繆創建了梵住國際禪修中心，同時也是麻坡(馬來西亞)、檳城(馬來西亞)和邦那(印尼)這三個國際梵住禪院的創建人和禪修導師。

2019年3月20日，緬甸的宗教事務文化部和緬甸聯邦共和國政府授予燃燈禪師“大業處導師”的榮銜，以此表彰她25年來在世界各地廣泛弘揚佛法的教學工作為弘揚佛教所帶來的偉大貢獻。

報名電話: 030-1347-1893 法廣比丘尼(山本優美子)

報名電郵: themyeditationjp@gmail.com

地點 place: 日本國東京都豐島區民中心  
(東京都豐島區池袋1-20-10)

# 東京台灣商工會忘年會 盼吸引人才加入傳承歷史



眾人紀念合影

【東京／採訪報導】東京台灣商工會於十一月二十三日在東京開完理監事會後舉辦忘年會，這次理監事會也推選出新任會長陳五福代表競選明年日總總會長，陳會長除了感謝對大家一年來的辛苦和支持，也期許若有幸當選總會長，會致力加強日總和地區商會的連結。

駐日代表張仁久也出席這次的忘年會，他表示，東京台灣商工會的場面非常大，看到大家都相處得很好，內心也感到非常快樂。而自己是從今年五月開始承辦僑務工作，過去在日本服務三十年，第一次跟鄉親們接觸感到很快樂，比起跟日本國會交往還快樂，因次才剛半年還有很多不足的地方，希望大家能多指教，代表處也會盡全力來協助大家。

日本台灣商會聯合總會總會長河道台表示，今天是回娘家，因為他是出身自東京，後來才到橫濱發展，東京台灣商工會歷史非常悠久，作業編組等都非常成熟，各地的商會都跟著東京學習，希望大家能珍惜這個歷史。另外他希望東京能同心協力支持陳會長競選日總會長，同時也希望大家支持這次將世界總會監事長的前亞總、關西的會長謝美香，因為還有聽說其他國家會參選，所以日本要團結起來支持。

會長陳五福則表示，一直以來都秉持著前輩的作法帶領商會，因此這次的忘年會安排唱歌跳舞表演等，不僅是單純的聚餐，除了讓大家找回以前的感覺，也同時凝聚向心力，更拋磚引玉，吸引更多優秀的人才加入，一同將東京台灣商工會傳承下去。

陳會長也提到，很謝謝大家的這一年的辛苦與支持，讓東京台灣商工會發展順利，青年部也很多人加入和出席今天的忘年會。另外對於獲得大家推選為日總會長候選人，陳會長說，很榮幸有這個機會，也很謝謝大家的肯定，未來若獲得大家的支持當選總會長，會致力加強日本總會跟地區的商會縱橫連結，讓日總更加成長茁壯。

活動除了安排南投觀光親善大使飛鳥奉美的演歌表演和帶動唱外，以及台灣傳統樂器揚琴的演出外，也安排了抽獎活動，獎品非常豐富，幾乎人人有獎，讓大家都享受到中獎的喜悅。



日總會長呼籲東京要支持陳會長參選日總會長，也盼大家支持謝美香參選日總監事長



帶動唱炒熱現場氣氛

成立大會紀念合影

日本地區僑學各界支持國民黨2020總統候選人韓國瑜暨立法委員選舉後援會  
中華民國108年11月16日 於東京



# 國民黨日本後援會成立 李佳芬代夫出征爭取支持

【東京／採訪報導】國民黨的「日本地區僑學各界支持國民黨2020總統候選人韓國瑜暨立法委員選舉後援會成立大會」於十一月十六日在東京成立，包含京濱地區、關西等地約三百多位僑胞出席，韓國瑜夫人李佳芬也親自來到日本授旗，全場高喊「韓國瑜凍蒜！李佳芬加油！蔡英文下台！民進黨下台！國民黨勝利！」。

後援會主任委員莊海樹於致詞時表示，我們日本的華僑非常的愛國、非常愛家，因此今天大家很踴躍出席，各位要記得明年一月十一日有總統和立法委員的選舉，這是關係到我們國家的前途，希望用我們的選票下架民進黨、下架蔡英文，支持中國國民黨的總統韓國瑜。

日本台灣商會聯合總會總會長河道台則表

示，去年的三山造勢人山人海，震撼了海內外僑胞，把中國國民黨喚醒，激發我們中華民國的情操，表示民心都向著我們國民黨，當我們韓市長就任高雄市長，每天馬不停蹄忙高雄市政，卻換來被抹黑、批評，甚至是在議會內被糟蹋，並受到執政黨中央杯葛，因此海內外僑胞看下去去力拱韓國瑜出來選總統，並高呼這次的總統大選要翻轉台灣，讓中華民國發光、發熱！

中國國民黨組織發展委員會海外部主任郭昫光於致詞時提醒日本僑胞返台投票，若沒有戶籍的人只要辦選民登記也可以返台投票，選民登記將於12月2日截止，大家應該先取得回去投票的資格。此外，韓國瑜也錄了一段影片表示，要盡全力保護中

華民國、保護中華文化、堅持台灣的民主自由、莫忘世上苦人多。

李佳芬表示，韓國瑜跟日本很早就結緣了，他是個眷村的小孩家境不是很好，但他很感謝國民黨救國團培養許多年輕人，因為他就是參加第1屆日本海外青年團，透過甄選來到日本，這趟行程也讓他非常震撼，因為日本的細緻以及整體的素養都使他敬佩不已。

李佳芬說，也因為窮苦人家的孩子在幾十年後才有機會出來海外，讓他覺得開拓視野對年輕人是重要的。所以一直提我們要好好培養年輕人，只要他當選，他一定要幫助台灣所有大專年輕人海外留學的經驗。

李佳芬於受訪時表示，2020年1月11日大家共同的願望就是希望讓國民黨重新執政，如果能在韓國瑜手上重新拿回執政，我們會用最謙虛的心情，最廉能的政府來建設這個國家，讓所有的僑胞以我們為榮。

同時李佳芬也提到，很訝異有的孩子說我們國家的名字就叫台灣，甚至認為是敏感的話題避而不談，若再這樣下去，中華民國這四個字真的不用等別人來消滅，我們自己在國內就消滅掉了，這也是非常危險的。孩子們不知道自己的根在哪裡，所以我們一定要重新找回中華民國。現場國旗不斷揮舞，活動過程中不斷高喊「韓國瑜凍蒜！李佳芬加油！蔡英文下台！民進黨下台！國民黨勝利！」，李佳芬也逐一向出席的來賓敬酒，而最後在大合唱《我現在要出征》、《中華民國頌》的歌聲中落幕。

# 三僑校華語演講交流 每個人都是100分



三僑校演講交流合影

【橫濱／採訪報導】為迎接海外漢字文化節，日本三僑校於十一月八日在橫濱中華學院舉辦華語演講交流，橫濱辦事處處長張淑玲、僑務組長王東生、副組長文君妃及東京中華學校校長劉劍城、大阪中華學校校長陳雪霏皆受邀出席，透過演講增加僑校凝聚的未來性，並深思演講內容，期望三僑校齊頭並進。

今年華語演講交流輪到橫濱中華學院舉辦，參與的團隊分別有橫濱中華學院、東京中華學校與大阪中華學校，從小學組到高中組共24人上台演講。橫濱辦事處處長張淑玲表示，演講的交流是為了培育年輕一輩的人才，三校學生互相切磋琢磨，也藉此將台日的關係連結的更緊密。

橫濱中華學院校長馮彥國受訪時提到，各校學生都是有備而來，且都具有特色，像是大阪的學生演講時很活潑、東京的學生很認真要傳達演講內容、橫濱的學生則是肢體動作豐富，學生們在台上演講的時候，台下是一種享受。他認為華語演講交流讓學生能把最好的一面表現出來，是三僑校不斷努力的才有的結果，活動中場也有舞龍、空手道、武術表演等表演。談到為什麼會有餘興表演，馮彥國說，除了

透過表演讓學生的緊張感降低，今年也把橫濱的特色「舞龍」、「功夫」突顯出來，同時也有傳承的意味，「舞龍」即代表龍的傳人，希望學生文武兼具，有別於以往的三字經、歌唱比賽。

僑務組長王東生在演講結束時笑著說，由於每個學生的表現都很優秀，所以他都給每個人一百分。三僑校的演講交流只是文化節的一環，此外還有查字典比賽、作文及成語比賽，期望三僑校不只在華語上精益求精，文化、武術方面都能齊頭並進。



演講交流

交流會紀念合影



# 逢甲訪團與日台不動產協會交流 東京神奈川接力上映

【東京／採訪報導】逢甲大學建築學院碩士在職專班由楊賀雯博士率團，於十一月四日與日本台灣不動產協會交流，雙方針對台日之間不動產業者的專業分工，以及實價登錄、台日各自不動產業現況進行探討，除了互相學習外，也希望能促進雙方產業的發展。

這次交流會日本台灣不動產協會特別邀請到同樣也是不動產出身的司法書士稻田統一，針對日本不動產的專業分工講解，日本的宅地建物士相當於台灣的不動產經理人，司法書士則是地政士，但宅地建物士的責任比經紀人的大，從契約的製作到重要事項說明等，都必須蓋章負責，而台灣因為除了銷售外，剩餘業務都由地政士負責，因此比起日本司法書士工作量大出許多。

另外近年來台灣的實價登錄因為牽扯到隱私權等因素吵得沸沸揚揚，日台不動產

協會事務局長林佳慶則表示，在日本無強制要求，政府也有請專業的調查師調查平均值，並刊登在網路上供民眾參考，但會因為各種因素有所差異，往往比起實價還低，至於業者內部則有互相提供資訊的平台，讓業者能參考更精準的依據。

會中日本台灣不動產會長林裕玲、創會會長錢妙玲也依據實務經驗，分析不少日本不動產的問題和業界現況，並請到會計士堀川哲朗說明日本郊區的投資狀況，逢甲訪團也分享台灣的交易情形、流程，讓旅居在外的台灣人了解業界資訊。

此外不動產協會副事務局長中川翔詠也說明協會的創立初衷，除了能促進台日不動產交流外，也希望幫助台灣人解決在不動產上遇到的難題，讓買賣方的溝通更加順暢，減少問題的發生。

林會長表示，這次是大家互相交流的好



會長林裕玲致詞

機會，也讓我們知道台灣的房地產交易情形，以及和日本的差異，讓我們可以截長補短，而且訪團的成員都是台灣各界專業人士，更重要的是讓我們學習到不少台灣不動產業的知識，即便台日文化相近，也不能用自己的文化思維去投資其他國家，所以未來協會也很願意繼續舉辦交流，讓大家都互相學習。

楊博士表示，學生雖然對台灣市場很熟悉，但未必對日本這塊熟悉，所以這次交流很好的地方是，他們能把台灣的想法對應到日本不動產業的不同之處，特別台灣很多法令制度都是參考日本，包括仲介、調查、租賃、估價等，但台灣因為是分批補齊，比日本完整的法律，還有很多破碎的地方，相信透過這次的交流，能給學生帶來更多想法，也很感謝協會的幫忙。

逢甲大學建築學院碩士在職專班每年都會舉辦移地教學，這次不僅與日台不動產協會交流，也會前往參觀森大廈和其他建物等行程，而學員則是在職人士為主，從事的行業包含土木、水利、交通運輸、都市計畫，甚至是律師、公務員都有。

# 《天長地久》日本上市 龍應台赴東京與讀者對談



【東京／採訪報導】台灣作家龍應台於十一月二十四日在誠品日本橋與讀者對談，同時也宣傳《天長地久：給美君的信》的日文版，也是她第三本翻譯成日文的作品，並第一次與日本的讀者見面，吸引不少讀者到場，聆聽她分享生命的故事，場面互動也相當熱絡。

《天長地久：給美君的信》的背景是在說自從龍應台卸任去文化部長後，於2017年八月搬回了屏東潮州，照顧患有失智症的母親，在她對母親有更深的了解後，催生了《天長地久》這本書，書中也收錄了龍應台寫給母親應美君的19封信，希望讓年輕人知道時間的流逝、短暫的相處要有意識及覺悟。

龍應台表示，今天分享的主題是跨界，這《目送》、《大江大海》、《天長地久》三本書寫得時候沒有那個意圖，寫完回頭看得時候，自己會發現跟跨界有關係，《目送》這本書是一種內在人生兩種境界探索的跨界，《大江大海》這本書的跨界對於中國大陸的讀者而言，是他們從來沒接觸過這本書裡頭的史觀。

龍應台說，《天長地久》的跨界是我想要進入她（應美君）的生命，但這次的有點晚跟遲到，因為她已不認得我，我自己當時有個反思，我很重視女性的情誼，所以我發現有很多的時間，我都跟女性友人一起旅行、看電影、看展覽等，但我的母親，對我這一生最大恩惠的人卻不在我的名單上。

她說，這三本書跟時間的端詳和注視有關，所以《目送》是個人生命認識到生命的流失，

《大江大海》其實就是對整個國族歷史的目送致敬，至於最新的這本《天長地久》，她舉例山毛櫸一生所產生的一百八十萬顆種子中，只有一顆，也就是一百八十萬分之一會變成大樹，所以我想說那一顆後來會長成大樹的種子，跟活三百年、四百年會死的母樹之間的千絲萬縷，應該就是這三本書最核心的意義，我稱它為情感的生態學。

對於會後問答時間，有讀者提到，如果重新回到很健康的時候，有信心跟她（母親）重新成為好朋友嗎，龍應台回應，所有的母親或祖母都曾經是嬌滴滴的女孩，你如果先自己推翻心中為她所塑造的媽媽或祖母的形象，你就會看到他的真面目，也就是在她心裡，即使已經九十五歲，還是會有嬌滴滴的女孩。



龍應台《天長地久》日本上市，親自來到東京與讀者互動



【茨城／綜合報導】日本笠間市、水戶市及大洗町從十一月起開始購買台灣香蕉，供給市內的中小學生作為學校營養午餐水果，同時促進台日兩國的文化交流。另外笠間市最大連鎖超市「霞」也同步辦理一系列活動，以推廣台灣香蕉。根據農委會農糧署統計，截至9月底，輸往日本的香蕉已達2589公噸，比去年同期增加62%。

農糧署表示，為了計畫性培養日本學童對台灣香蕉的認識及喜愛，並擴大消費層面，從2016年起透過靜岡縣御殿場市採購台灣香蕉供應日本學童午餐水果；2017年時也在東京武藏野調理學校舉辦甜點比賽，向媒體、通路業者及餐飲業者廣宣以香蕉製成甜品的

特色；2018年更進一步拓展至富山縣、石川縣與靜岡縣中小學團體及靜岡鐵道超市、大阪屋超市連鎖店等新通路。

農糧署表示，日本茨城縣笠間市聽聞台灣香蕉後，在今年七月二十四日與農糧署簽訂「強化飲食及文化交流發展合作備忘錄」，立即採購台灣最優質秋冬蕉，供應給當地學童，推廣美味可口的香蕉給學童及其家人，並成功獲得學生歡心，今年度截至9月底，輸往日本的香蕉已達2589公噸，較去年同期1593公噸，增加62%。

農糧署說，日本是非常重視食農教育的國家，在品嚐不同食物時，同時也會向學童傳遞對食物的正確知識及培養珍惜食物的觀念；因此農糧署也特別委託兒童讀物專家，特別編製適合小學三、四年級學童閱讀的兒童繪本，強化他們對台灣香蕉的印象與認識；同時藉由農產品與文化的相互交流，可以期待往後讓台灣香蕉能在日本更發揚光大，重新喚回日本消費者對香蕉的喜愛。